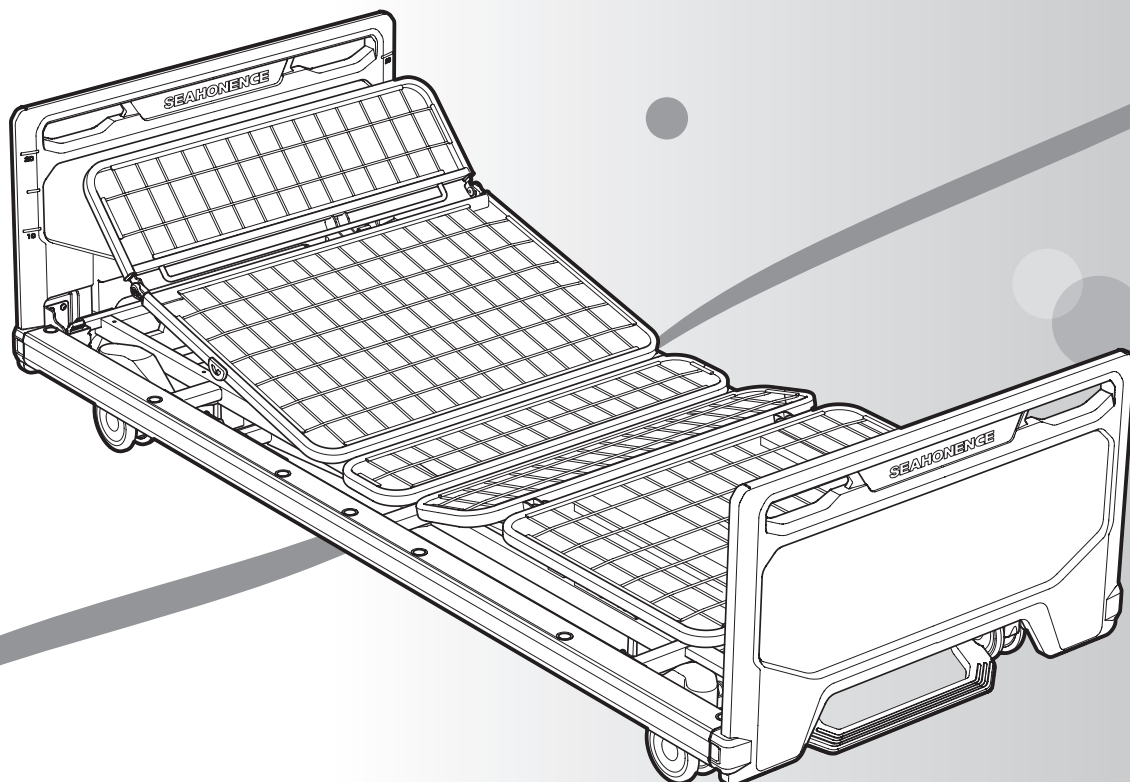


低床スタンダードベッド AXシリーズ

取扱説明書

保証書付



ベッドを正しくお使いいただくために シーホネンスからのお願い

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書にはご使用上の注意事項や操作方法が記載されています。
- ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになって、正しくお使いください。
- ベッドを使用される方ばかりでなく、付き添いの方にも安全な操作方法を説明してください。
- お読みになった後も、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサポートまでお問合せください。
- このベッドは日本国内専用です。電源電圧が異なるため海外では使用できません。



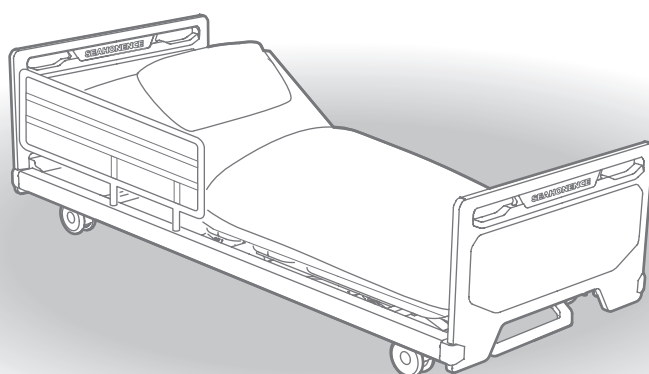
シーホネンス株式会社

低床スタンダードベッド
AXシリーズ

取扱説明書

もくじ

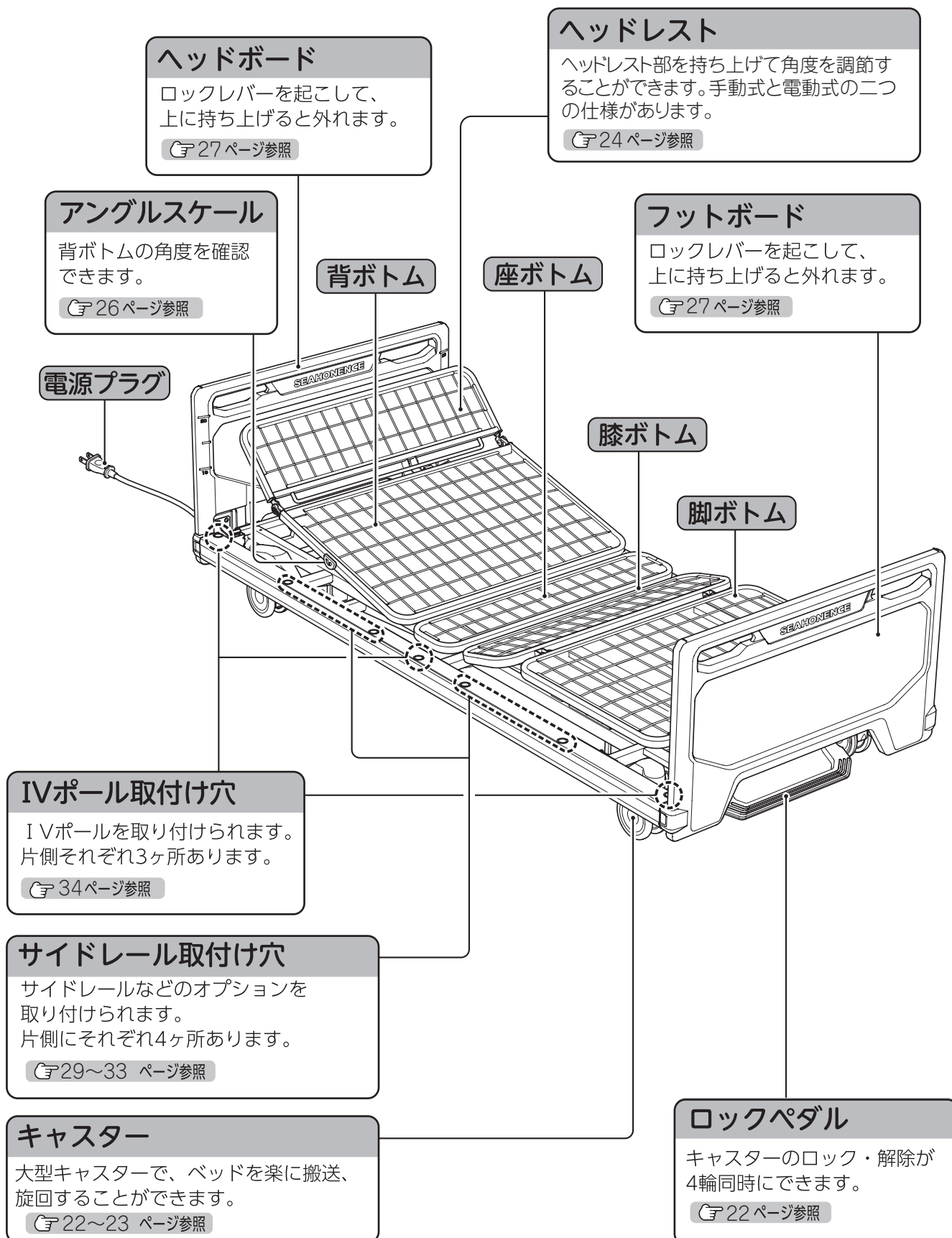
	ページ
はじめに	1 主要部のなまえとはたらき 1~2
	2 安全にお使いいただくために 3~10
	表示と絵表示について 3
	警告ラベルについて 3
	警告内容について 4
注意内容について 8	
3 設置に関する注意事項 11	
4 仕様 13~14	
使いかた	5 電源の接続 15~16
	電源プラグについて 15
	コード掛け金具の使いかた 15
	バッテリー機能について 16
	6 手元スイッチの使いかた 17~21
	手元スイッチの接続方法 17
	電源ボタンと動作ロック機能について 18
	操作ボタンについて 19
	コードクランプについて 21
	7 ベッドの使いかた 22~26
	キャスターロックの方法 22
	ヘッドレストの操作方法(オプション) 24
	脚先角度調節の方法 25
アングルスケールについて 26	
8 ベッド付属部品の取付け・取外し 27~28	
ヘッドボード・フットボードの取付け・取外し 27	
マットレス止めの取付け・取外し 28	



	ページ
9 オプション品について	29~37
サイドレール	29
折りたたみサイドレール	30
回転式アーム介助バー	32
サイドレールの組み合わせ適合表	33
ハルンバック・ドレナージバッグ	35
IVポール	35
延長ボトムユニット	36
マットレス	37
10 介護リフト使用時のご注意	38
11 日常のお手入れ	39
12 故障かな?と思ったら	39
13 緊急時の背下げ操作 (停電・故障時などの対応)	40~43
14 長期保管について	44
15 アフターサービス	44

はじめに

1 主要部のなまえとはたらき



手元スイッチ

ベッドの高さ、ボトムの角度を無段階で調節できます。

上部についているフックでヘッドボード・フットボードにかけてください。

※操作(動作)については、「手元スイッチの使いかた」を参照してください。

☞ 17～20 ページ参照

ロックレバー (ヘッド側)

ヘッドボードを取り付けた際、ロックレバーが自動でロック状態になります。

※操作(動作)については、「ヘッドボード・フットボードの取付け・取外し」を参照してください。

☞ 27 ページ参照

バッテリー

停電などの緊急時やベッド搬送時など、コンセントから電力が供給されていない状態でもベッド操作をおこなうことができます。

※バッテリーが搭載されていないモデルもあります。

☞ 16 ページ参照

手元スイッチ差込ポート

ベッドの設置場所にあわせて、左右いずれかの差込ポートに手元スイッチを接続できます。

※操作(動作)については、「手元スイッチの接続方法」を参照してください。

☞ 17 ページ参照

マットレス止め

マットレスのズレを防止します。

☞ 28 ページ参照

脚ボトムステー

膝上げ時に、脚ボトムステーの位置を変えて脚先をさげることができます。

※操作(動作)については、「脚先さげ機能について」を参照してください。

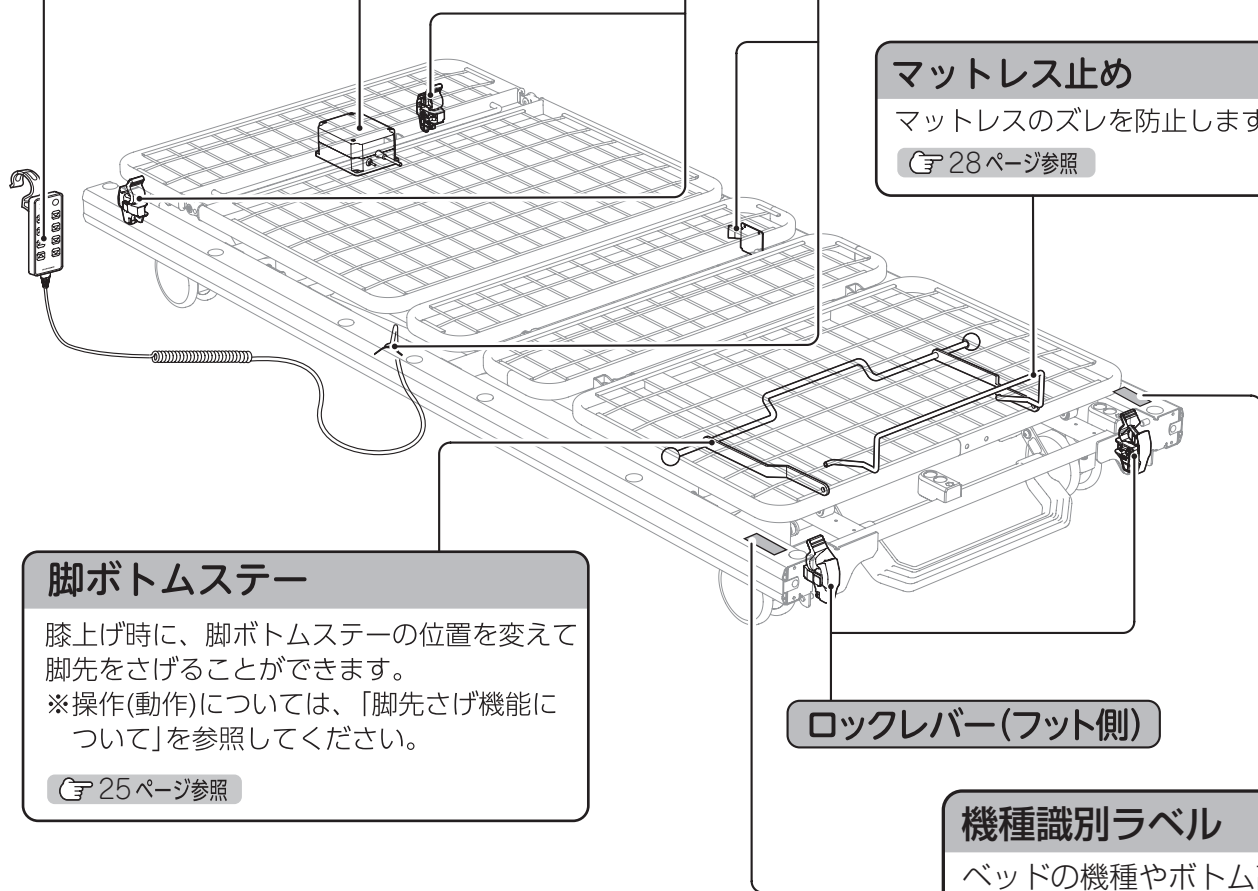
☞ 25 ページ参照

ロックレバー (フット側)

機種識別ラベル

ベッドの機種やボトム高さの仕様を確認できます。

☞ 38 ページ参照



※イラスト中のベッドはヘッドボード・フットボードを取り外した状態です。

2 安全にお使いいただくために

必ずお読み ください

必ずご使用前に『安全にお使いいただくために』をよくお読みになり正しくお使いください。
ベッド本体とオプションを安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためです。

表示と絵表示について

説明書の内容を無視し、誤った使い方を行ったときに生じる危険や損害の程度を下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、生命にかかわるケガを負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がケガを負う可能性及び物的損害の発生がある内容を示しています。

<絵表示の例>



感電注意

△記号は、警告・注意を促す内容があることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左の図の場合には『感電注意』）が描かれています。



分解禁止

⊘記号は、禁止の行為であることを示しています。図の中に具体的な禁止内容（左の図の場合には『分解禁止』）が描かれています。



必ず守る

❗記号は、必ず実行していただく強制の内容があることを示しています。左図は、「必ず守る」を示します。

ベッドのご使用時には、
『警告』および『注意』を
必ずお読みください。

警告ラベルについて [下記参照](#)

警告内容について [4～7ページ 参照](#)

注意内容について [8～10ページ 参照](#)

警告ラベルについて

ベッドをお使いの方に対して、特に注意していただきたいことをラベルにして、各ユニットなどに貼っています。

警告ラベルは、はがしたり傷をつけたりしないでください。



警告

以下の項目は、全て危険行為ですので必ず守ってください。守らなければ人が生命にかかわるケガを負う可能性が想定されます。

●サイドレールやヘッド・フットボードのすき間に注意する

身体の一部（特に頭や首）がサイドレールと回転式アーム介助バーのすき間、サイドレール・回転式アーム介助バーとヘッド・フットボードや各ボトム・マットレスなどのすき間に入らないように注意してください。

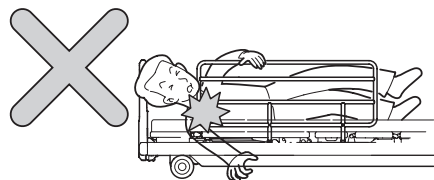


必ず守る

すき間に入った状態でベッドを操作すると、はさまれてケガをするおそれがあります。また、すき間にはさまれたり、入ると抜けなくなったりするなどして、ケガをするおそれがあります。

特に予測できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方、自分で危険な状態から回避することができないと思われる方につきましては、十分注意してください。

33ページ 参照



●サイドレールを使用するときはベッドからの転落に注意する

サイドレールとサイドレール・回転式アーム介助バー、各ボードとサイドレールのすき間から転落してケガをするおそれがあります。また、サイドレールの上から身を乗り出して転落し、ケガをするおそれがあります。



必ず守る

厚みのあるマットレスを使用する場合は、サイドレールを乗り越えやすくなりますので高さのあるサイドレール（AB-610R、AB-611R）の使用をおすすめします。

ベッドの背ボトムを上げた状態で使用する場合、転落予防としての効果を十分に発揮できないおそれがあります。

特に予測できない行動をとると思われる方や、体位を自分で保持できない方、自分で危険な状態から回避することができないと思われる方につきましては、十分注意してください。



●オプション部品は正しい向きで取り付ける

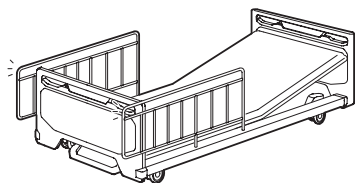
サイドレールや回転式アーム介助バーなどのオプション部品を取り付ける際は、正しい向きで取り付けてください。



必ず守る

ベッドから転落したり、意図せぬすき間が発生したりして、身体の一部がはさまれてケガをするおそれがあります。

正しい向きでの取り付けかたについては、33ページを参照してください。



●ベッドの下にもぐり込んだり、身体の一部を入れない

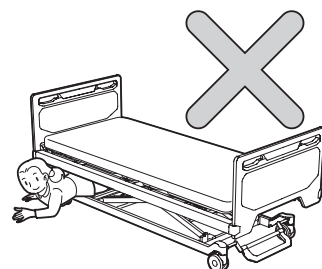
ベッドの可動部分（ボトムなど）とフレームやサイドレール、回転式アーム介助バーなどとの間に身体の一部（頭や手、足）をはさんでケガをするおそれがあります。



禁止

ベッドの操作時は、ベッドの下や周りに障害物がないことを確認して操作してください。

やむをえずベッド下部や可動部にもぐりこんだり、手など身体の一部を入れる必要がある場合には、必ず手元スイッチで全ロックをかけるか、または電源プラグとバッテリーケーブルを抜いてください。全ロックのかけ方や、バッテリーケーブルの抜き方については取扱説明書をご確認ください。



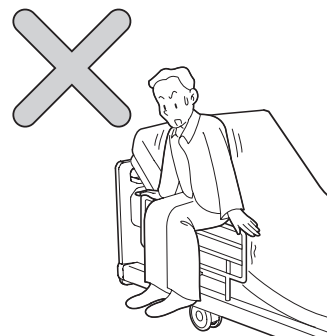
●オプション部品やヘッドボードなどに腰掛けたり、踏み台代わりにしたり、足をかけて立ち上がらない



禁止

サイドレールや回転式アーム介助バー、延長ボトムなどのオプション部品やヘッド・フットボードに腰掛けたり、踏み台代わりにしたり、足をかけて立ち上がったりしないでください。

ベッドから転落・転倒してケガをしたり、ベッドやサイドレール・回転式アーム介助バー、延長ボトムなどが破損・変形するおそれがあります。



●操作が理解できないと思われる方(お子さまや認知症の方など)に操作させない



禁止

操作が理解できないと思われる方(お子さまや認知症の方など)が1人で手元スイッチを操作した場合、誤ってベッドに身体がはさまれるなど、思わぬケガをするおそれがあります。1人で手元スイッチに触れる可能性がある場合は、次の方法により操作を制限し、誤操作による事故を未然に防いでください。

- ・手元スイッチの動作ロック機能で「高さの操作」または「全ての操作」をロックする。手元スイッチに付属している専用キーを取り外して紛失しないよう保管してください。動作ロックの設定後、手元スイッチのロックランプが点灯していることと、動作ロックを設定した手元スイッチのボタンを押して正しく設定されているか必ず確認してください。

18ページ 参照



●ベッドをご使用の方に注意して操作する



必ず守る

ベッドをご使用の方がボトムの角度やベッドの高さ調節中に動くと、ベッドから転落したり、サイドレール・回転式アーム介助バーなどや各ボードなどとのすき間にはさまれたりして、ケガをするおそれがあります。

特に予測できない行動をとられる方や、体位を自分で保持できない方、自分で危険な状態から回避することができないと思われる方につきましては、十分注意してください。



●ベッドから離れるときは注意する



必ず守る

万一のベッドからの転落に備え、付き添い・医療従事者などがベッドから離れたり、ベッドをご使用の方から一時的に目を離したりする際は、安全の確保ができていないか確認してください。

思わぬケガをするおそれがあります。

●乳幼児やお子さまには使用しない



禁止

本製品は、乳幼児やお子さま向けに設計されていません。サイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれて、ケガをするおそれがあります。

サイドレールを使用しているもすき間から転落して、ケガをするおそれがあります。

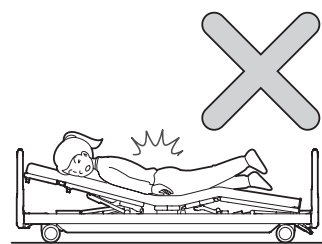
●うつ伏せや無理な姿勢での角度調節はおこなわない



禁止

うつ伏せや無理な姿勢（仰向け以外）での角度調節は、ケガをするおそれがあります。

また、ベッドの頭側と脚側を間違えた状態での角度調節も無理な姿勢となり、ケガをするおそれがあります。



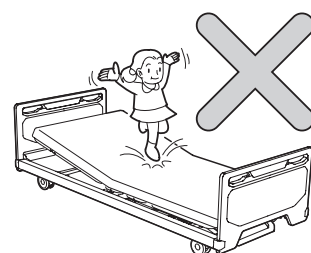
●ベッドの上で飛び跳ねたりしない



禁止

ベッドから転落・転倒してケガをしたり、ベッドが故障したりするおそれがあります。

特にお子さまにご注意ください。



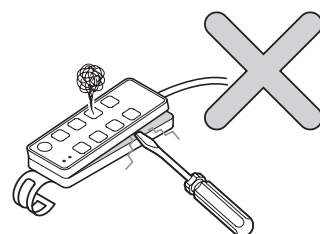
●分解、改造はしない



禁止

意図せぬすき間の発生や異常動作などにより、ケガをするおそれがあります。

弊社指定の技術者以外の方は絶対に分解・改造をしないでください。



●コード類を傷つけない



禁止

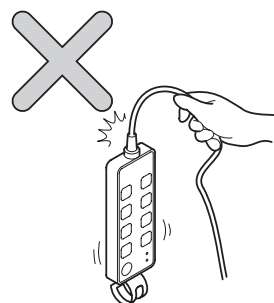
手元スイッチなどの電装部品やコード類（電源コードなど）が破損し、感電・火災のおそれがあります。

ベッドの可動部に手元スイッチやコード類をはさまないようにしてください。

コード類に重い物を置いたり無理な力を加えたりしないでください。

ベッドでコード類を踏みつけないでください。

傷んだ手元スイッチなどの電装部品やコード類は修理（交換）を依頼してください。



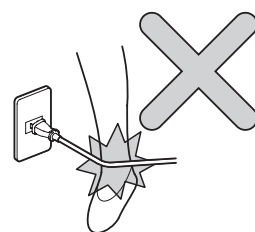
●コード類に足を引っ掛けない



禁止

手元スイッチなどの電装部品やコード類（電源コードなど）に足を引っ掛けないようにしてください。

プラグやコードが破損し、感電・発火のおそれがあります。また、転倒してケガをするおそれがあります。

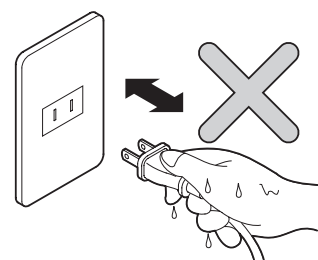


●電源プラグを濡れた手で抜き差ししない



感電注意

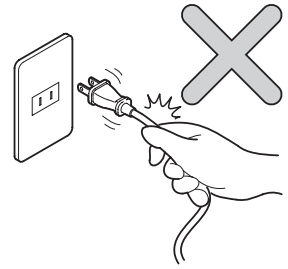
ショートして感電・故障するおそれがあります。



●電源プラグを持って抜く



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜いてください。
コードが傷んで感電・発火のおそれがあります。また、電源プラグには、無理な力を加えないでください。

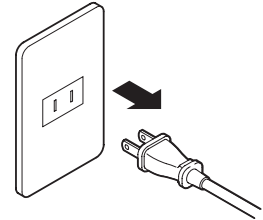


●お手入れは電源プラグとバッテリーケーブルを抜いてからおこなう



プラグを抜く

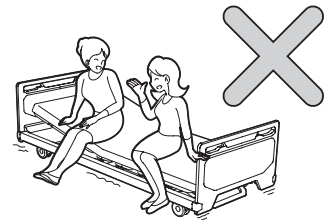
お手入れや掃除などやむを得ずベッドの下に入る際は、電源プラグを抜いてからおこなってください。
誤操作によるケガやショートによる感電のおそれがあります。



●このベッドは1人用の設計になっています

このベッドの最大使用者体重は 138kg です。一時的に付き添い・医療従事者がベッドに乗る必要がある場合は、次の点を確認してください。

○ベッドにかかる荷重が最大使用者体重 138kg を超えていないこと



禁止

安全使用荷重について

- ・このベッドの安全使用荷重は 174kg です。安全使用荷重は、ベッドの動作がおこなえる最大荷重であり、使用者体重とマットレスやオプションなどの付帯物の合計荷重です。
- ※ベッドに安全使用荷重以上の荷重を加えないでください。ベッドが破損してケガをするおそれがあります。



注意

以下の項目は、全て危険行為ですので必ず守ってください。守らなければ人がケガをする可能性や物的損害の発生が想定されます。

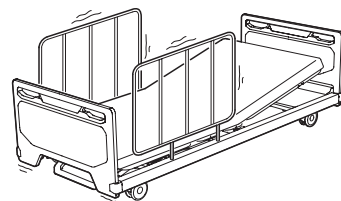
●適合品以外と組み合わせしない

弊社が指定する適合品以外の製品とは組み合わせしないでください。



禁止

オプション製品などは、必ず弊社が指定する適合品を使用してください。適合品以外の製品と組み合わせると意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、支持性の低下などにより、ケガをしたり、ベッドが故障するおそれがあります。 **33 ~ 34ページ 参照**



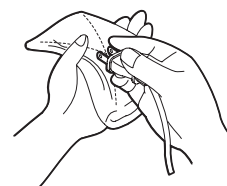
●電源プラグにほこりを付着させない

電源プラグの表面にほこりが付着していると水分を含んで電流が流れ、絶縁状態が悪くなり、発火のおそれがあります。



禁止

電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。



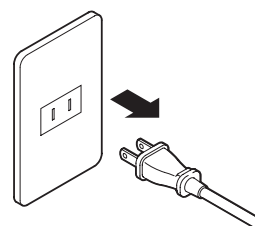
●電子治療器を使用するときは、必ず電源プラグを抜く

電子治療器（マイクロ波治療器、超短波治療器など）を同時に使用した場合、ベッドの故障や誤動作の原因となります。



プラグを抜く

なお、他の ME 機器と併用する際は、安全を確認の上、使用してください。

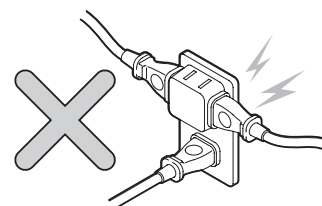


●タコ足配線はおこなわない

コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して発火するおそれがあります。



禁止



●ベッドは定期的に点検する

使用の頻度や環境により、製品は摩耗・劣化します。定期的に各部のゆるみ、可動部の動作破損の有無などを点検してください。思わぬケガをするおそれがあります。



必ず守る

●被災したベッドは点検・修理する

地震・火災・水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店または弊社カスタマーサポートまで点検・修理を依頼してください。

電装品のショートや漏電による感電・火災やベッドの変形による動作の異常によってケガをするおそれがあります。



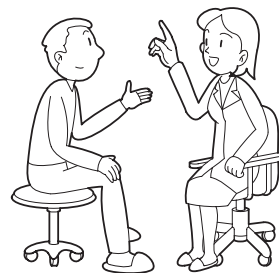
必ず守る

●使用者の容態にあわせて使用してください



必ず守る

使用者の容態によっては、ベッドの操作や背あげ・膝あげなどの姿勢をとることにより、容態を悪化させるおそれがあります。使用者あるいはご家族の方が直接操作される場合は、付き添い・医療従事者などが「取扱説明書」の内容と、容態にあった使用方法について十分に説明した上で使用してください。

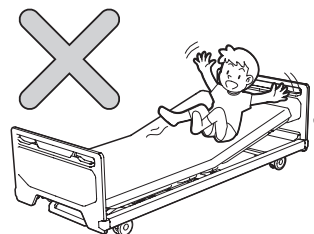


●上がっている背ボトムや脚ボトムに乗らない



禁止

ボトムの支持部に大きな力がかかり、破損・変形の原因になります。



●火器に近付けない



必ず守る

ベッドの近くで、ストーブなどの熱器具を使用しないでください。変質・変形・発火などの原因になります。

●ヘッドレストを持ち上げた状態でヘッドレストの上に座らない



禁止

ヘッドレストを持ち上げた状態でヘッドレストに大きな負荷をかけないでください。破損・故障の原因になります。

24ページ 参照



●つま先をベースフレームの上や下に置かない



禁止

ベースフレームの上に足をかけたり、足先を下に入れたりしないでください。はさまれてケガをするおそれがあります。



●水などをこぼさない

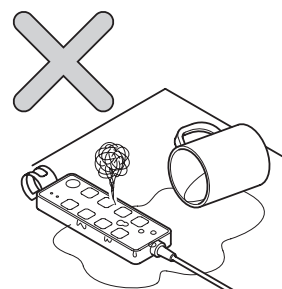


必ず守る

手元スイッチなどの電装品は防水仕様ですが、水などをこぼさないでください。

故障の原因になります。

水などがかかってしまった場合には、すぐに拭き取り、乾いてから動作確認を行ってください。動作に異常がある場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

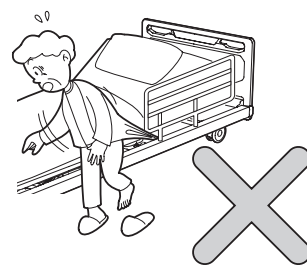


●突起物に衣類などが絡まないように注意する



必ず守る

事故、ケガの原因となります。衣類に絡まった状態でベッドの乗り降りをすると転落・転倒をするおそれがあります。乗り降りの際は、周囲の状況をご確認ください。

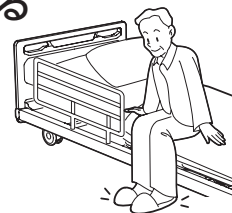


●乗り降りの際は足が床につくようにベッドの高さを調節する



必ず守る

事故、ケガの原因となります。ベッドの乗り降りの際には足元のスペースを確保し、足がしっかり床に着くようにベッドの高さを調節してください。



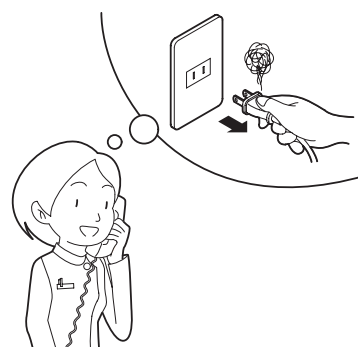
●電源コード・電源プラグの状態に注意する



感電注意

以下の現象が生じた場合、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または弊社カスタマーサポートにご連絡ください。

- ①電源コード・電源プラグが異常に熱い
- ②電源プラグが変形または変色している
- ③焦げくさい臭いがする

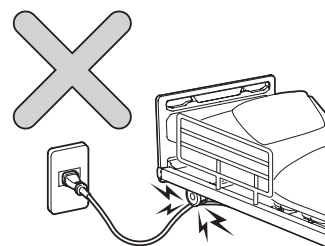


●電源コードのはさみこみに注意する



必ず守る

故障・感電のおそれがあります。電源コードをキャスターで踏んだり、ベッド可動部ではさんで破損・断線させないように注意してください。



3 設置に関する注意事項

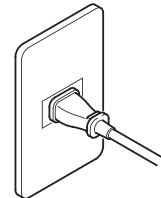
ベッドを設置にするにあたって、下記の注意事項を守ってください。

警告

●ベッドの電源は直接コンセントからとる



コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災が発生するのおそれがあります。

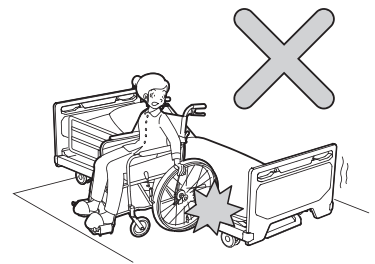


注意

●ベッド周辺のスペースを確保する



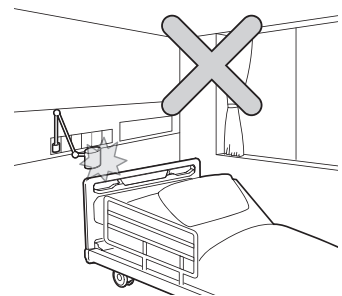
ベッドを使用する方がベッドから起きあがる場合に、ベッドの左右どちら側からの乗り降りが可能か、車いすをご使用の場合は、ベッドのどちら側で使用するかによって必要なスペースを確保してください。ベッドや車いすが破損したり、壁やものなどを傷つけたりするおそれがあります。



●ベッド周りの家具備品、部屋の構造物の一部などと当たらないように注意する。



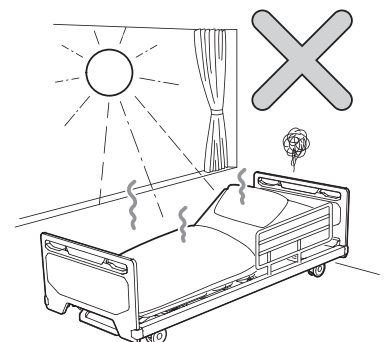
特に高さ方向については、ベッドの高さ調節によってベッド周りの家具備品、部屋の構造物の一部などに当たらないように配慮してください。ベッドや家具備品・構造物などが破損するおそれがあります。



●次のような場所への設置は避ける。



- 直射日光の当たる場所
- 冷暖房機による冷気や暖気が直接当たる場所
- 過度の水蒸気や油蒸気のかかりやすい場所
- 高温・多湿・低温・乾燥した場所
- ほこり、煙、塩分、イオウ分
腐食性物質などの多い場所
- 換気の悪い場所
- 振動や衝撃のある場所
- ゆかが水平でない場所
- ゆかが丈夫でない場所



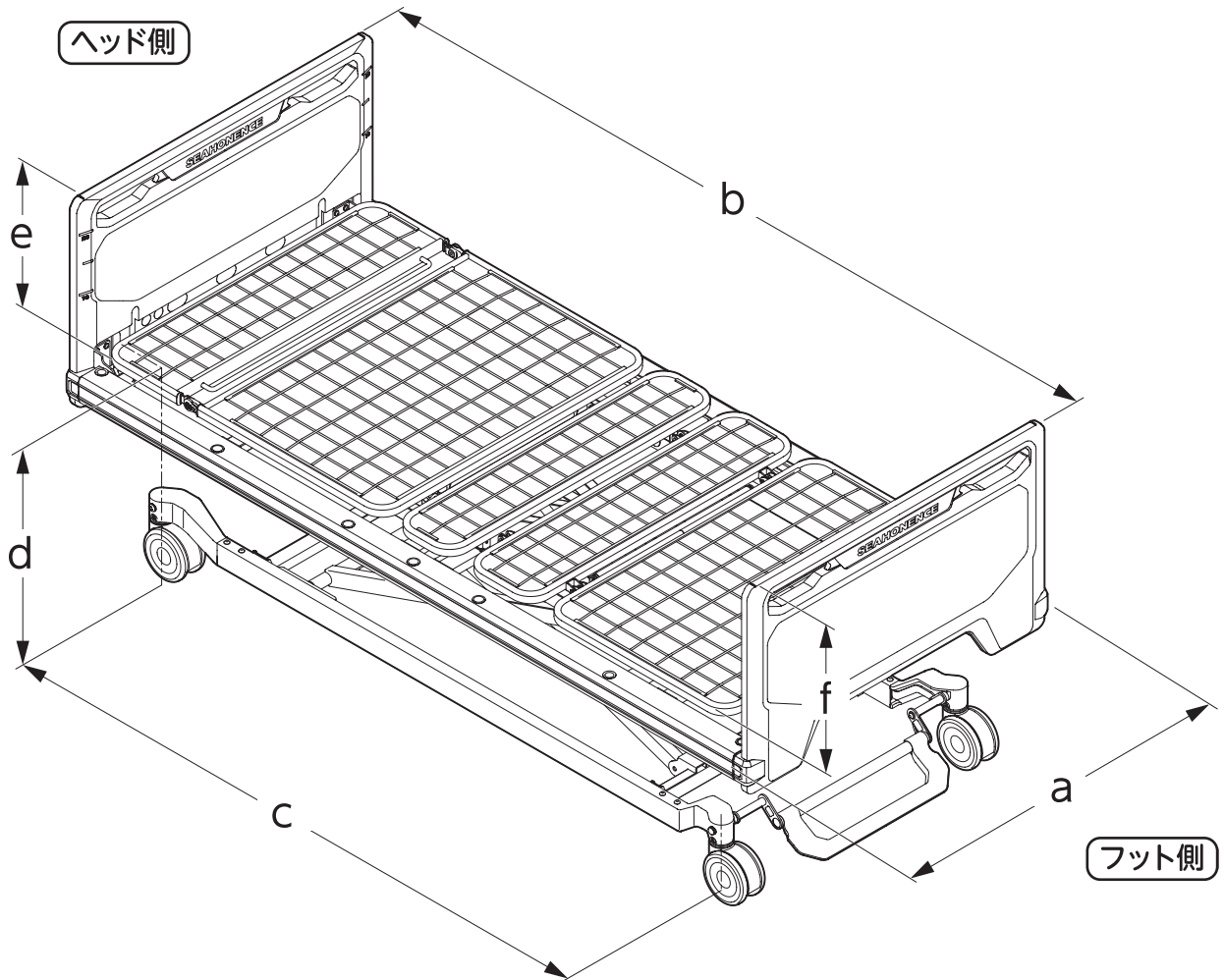
MEMO



4 仕様

■各部の寸法

a～fの寸法は、14 ページに記載しています。



	項目	箇所
a	全幅	最大外径寸法
b	全長	最大外径寸法
c	キャスター間の長さ	キャスターの旋回中心軸間長さ
d	ボトムの高さ	ゆか～ボトム上面 (最低高さ～最高高さ)
e	ヘッドボード高さ	ボトム上面～ヘッドボード上端
f	フットボード高さ	ボトム上面～フットボード上端

仕様表

品名		AXシリーズ
操作方法	背あげ・膝あげ連動	電 動
	背あげ	電 動
	膝あげ	電 動
	高さ調節	電 動
	ヘッドレスト	電 動 / 手 動
寸 法	a：全幅	93cm / 100cm(ワイド仕様)
	b：全長 ^{※1}	① 211.5cm(236.5cm ^{※2}) / ② 212cm(237cm ^{※2}) / ③ 212cm(237cm ^{※2})
	c：キャスター間長さ	159cm
	d：ボトム高さ	[低床仕様] 25～67.5cm [床走行リフト対応仕様] 30～72.5cm
	e：ヘッドボード高さ	37cm
	f：フットボード高さ	37cm
	ボトム幅	83cm / 90cm(ワイド仕様)
	ボトム長さ	191cm (218cm ^{※2})
製品重量	最大 110kg (118kg ^{※2})	
キャスター	φ125mm 双輪キャスター(トータルロック) φ100mm 双輪キャスター(対角ロック・四輪ロック)	
電源コード長さ	320cm	
主な材質	ハイローベースユニット	スチール製(抗菌剤入り粉体焼付塗装仕上げ) 合成樹脂成形品・アルミダイカスト成形品 塗装色：オフホワイト
	メインフレーム	
	ボトムユニット	ワイヤメッシュ・鋼管・抗菌剤入り粉体焼付塗装仕上げ
	ヘッド・フットボード	ポリプロピレン樹脂ブロー成形品・木製・スチール製(一部木製)・SUS
最大使用者体重	138kg	
安全使用荷重 ^{※3}	174kg (1700N)	
最大マットレス厚 ^{※4}	①17cm / ②23cm	
背上げ	傾斜角度	0～70度
	昇降時間	約 23 秒
膝上げ	傾斜角度	0～30度
	昇降時間	約 15 秒
高さ調節	昇降距離	42.5cm
	昇降時間	約 31 秒
ヘッドレスト	傾斜角度	0～30度(電動：無段階 / 手動：3度刻み10段階調節)
形式	リニアアクチュエータ (DC モーター)	
電源電圧、周波数	AC100V 50/60Hz	
消費電力(無負荷)	背上げ：約 70W 以下、膝上げ：約 45W 以下、高さ調節：約 60W 以下	
待機電力	約 2W 以下 (バッテリー充電中は約 10W 以下)	
連続使用時間	約 2分 (間欠 18分)	
バッテリー	公称電圧	DC24V
	充電電流	500mA
	充電時間	24時間
	使用回数	『高さ調節』で約30往復可能(無負荷フル充電時) ^{※5}
動作保証条件	温度	10～40℃
	湿度	30～75% RH
	大気圧	800～1060hPa

※1 ヘッド・フットボード種別の全長 ①木製ボード使用時 ②整形ボード使用時 ③ワイドボード使用時

※2 延長ボトムを取り付けた場合

※3 最大使用者体重とマットレスやオプションを含めた重さ

※4 サイドレール・回転式アーム介助バー使用時に JIS に適合する最大マットレス厚

① サイドレール：AB-600R、AB-601R、AB-600S、AB-601S

折りたたみサイドレール：AB-031X

回転式アーム介助バー：AB-42R、AB-50R 使用時

② サイドレール：AB-610R、AB-611R 使用時

※5 工場出荷時

使いかた

5 電源の接続

電源プラグについて

電源プラグは適正配線されたAC100Vのコンセントに確実に差し込んでください。



注意

火災の原因になります

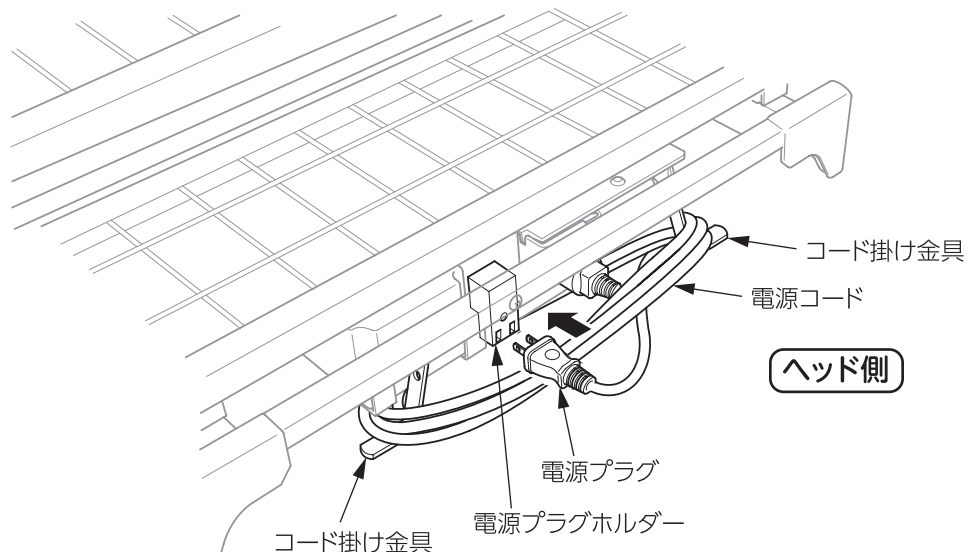
- ◆タコ足配線は行わないでください。コンセントや延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災が発生するおそれがあります。
- ◆使用電源はAC100V以外では使用しないでください。
- ◆電源プラグは確実にコンセントに差し込み、手元スイッチの電源ボタンを押して電源ランプが点灯していることを確認してください。
- ◆手元スイッチのボタンを押したまま電源プラグを抜かないでください。故障の原因になります。

コード掛け金具の使いかた

ベッドの移動などでコンセントから抜いたときは、電源コードをコード掛け金具に巻きつけてください。

※電源プラグホルダーはベッドを充電するためのものではありません（通電しません）。

- 1 電源コードを、下図のようにコード掛け金具に巻きつける
- 2 電源プラグやコードのたれ下がりを防ぐため、電源プラグを電源プラグホルダーに差し込む



バッテリー機能について

バッテリー機能により、停電などの緊急時やベッド搬送時など、コンセントから電力が供給されていない状態でもベッド操作をおこなうことができます。

※バッテリーが搭載されていないモデルもあります。



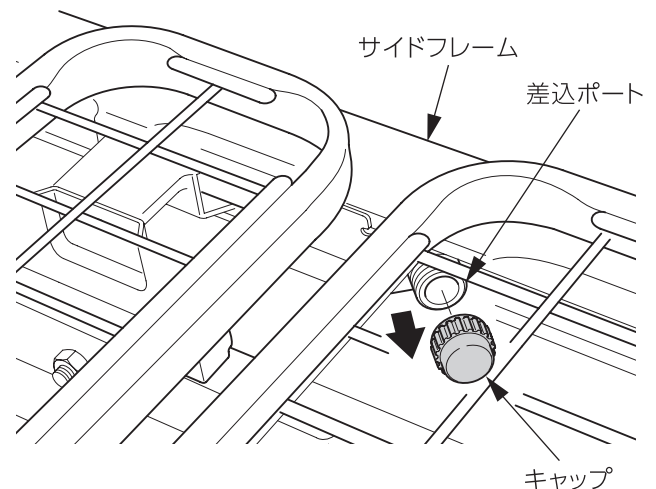
注意

- ◆緊急のときと搬送中のとき以外の通常使用時は、バッテリー電力だけでのベッド電動操作はおこなわないでください。
- ◆ベッドを長期間保管する場合は、3ヶ月に一度はコンセントでの通電を24時間おこない、バッテリーを充電してください。 **44ページ 参照**
- ◆保管後、再びベッドを使用する場合は、バッテリーケーブルを接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。
- ◆バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命とされますので新しいものをお買い上げください。
寿命は、保管方法、使用状況や環境によって異なります。

6 手元スイッチの使いかた

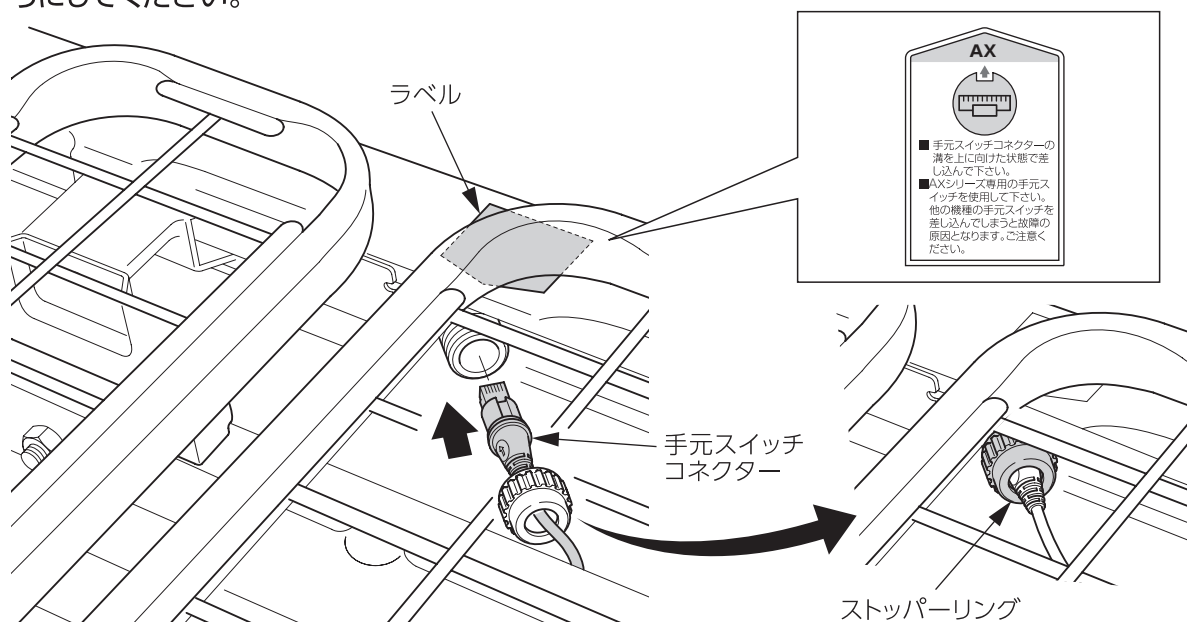
手元スイッチの接続方法

手元スイッチはサイドフレーム内側の差込ポート（左右2ヶ所）のいずれかに接続することができます。
ベッドの設置場所に合わせて、左右いずれかに取り付けてください。
手元スイッチを接続しない方の差込ポートにはキャップを取り付けてください。
キャップは1台に1つ付属しています。



Point

- 差込ポートの位置は、サイドフレーム上部のラベルにより確認することができます。手元スイッチコネクタの差し込みには方向性がありますので、正しい方向をサイドフレーム上部のラベルにて方向を確認してから差し込んでください。
※正しくない方向で無理な力で差し込むと故障の原因となります。
- 接続した後は、ストッパーリングを差込ポートに取り付けて、手元スイッチコネクタが外れないようにしてください。



注意

- ◆ 静電気に注意してください。
手元スイッチを接続する前に、ベッド以外の金属部分に触れるなどして、人体や衣服から静電気を除去してください。また、コード類を接続する際には差込ポートの内部に触れないよう注意をしてください。静電気の影響によって故障などの原因となるおそれがあります。
- ◆ 手元スイッチはAXシリーズ以外のベッドに取り付けしないでください。また、他の機種の手元スイッチをAXシリーズのベッドに取り付けしないでください。
誤った手元スイッチの組み合わせは、誤動作や故障の原因となるおそれがあります。

6 手元スイッチの使い方

電源ボタンと動作ロック機能について

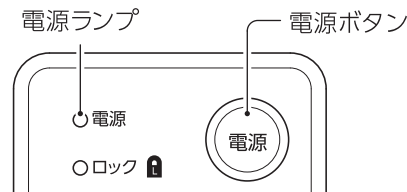
操作の前に、ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。

電源ボタン

手元スイッチの電源ボタンを押すことで各操作ができるようになります。

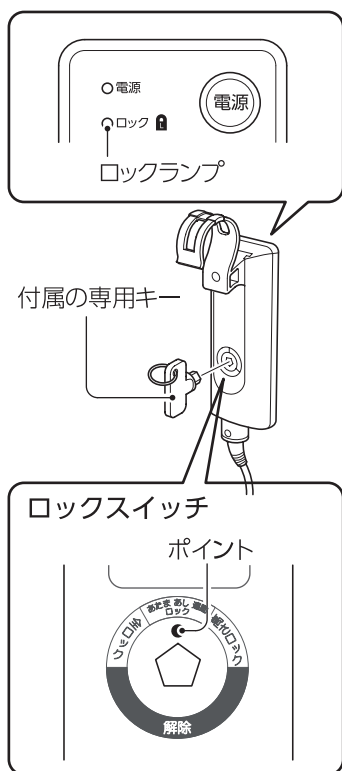
(電源ランプ:緑点灯)

誤操作による事故を未然に防ぐため、操作が終わったら電源ボタンを押して電源を切ってください。



動作ロック機能

手元スイッチ裏側のロックスイッチを付属している専用キーで回転させることで、ロック操作を設定できます。ロックスイッチを回転させて設定するときは、ポイントの位置を表示の中央に合わせてください。



共通



- ・ポイントの位置が「解除」のとき
→全ての操作ができます。
工場出荷時は「解除」になっています。
(電源ランプ:緑点灯)



- ・ポイントの位置が「高さロック」のとき
→高さ調節の操作ができません。
(ロックランプ:オレンジ点灯)



- ・ポイントの位置が「全ロック」のとき
→全ての操作ができません。
(ロックランプ:オレンジ点灯)

3モーターのみ



- ・ポイントの位置が「あたまし 連動ロック」のとき
→背ボトムと膝ボトムの連動操作ができません。
(ロックランプ:オレンジ点灯)

4モーターのみ



- ・ポイントの位置が「ヘッドレストロック」のとき
→ヘッドレストの操作ができません。
(ロックランプ:オレンジ点灯)

Point

- 動作ロックを設定したにもかかわらず、ロックランプが点灯していないときは、動作ロックが正しく設定できていません。再度設定してください。
- モーターの連続使用時間は2分までです。2分以上の連続使用はおこなわないでください。続けて使用する場合はしばらく時間をおいて使用してください。



操作ボタンについて

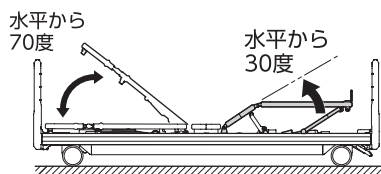
手元スイッチのボタンでベッドの背ボトム、膝ボトム、ベッドの高さを無段階に調節できます。ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。必要な位置まで動かしてお使いください。

● あたまあし ボタン

からだに負担をかけない

- 前ずれや圧迫感を軽減させながら背ボトムを調節できます。

-  を押すと膝ボトムを連動させつつ背ボトムが上がります
-  を押すと膝ボトムを連動させつつ背ボトムが下がります





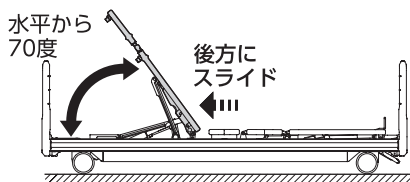
● 背上げについて

ベッドから起き上がるとき

ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利

- 背ボトムの角度を調節できます。背ボトムは、水平から最大70度まで調節できます。

-  を押すと背ボトムが上がります
-  を押すと背ボトムが下がります





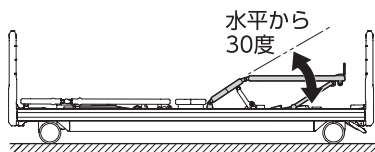
● 膝上げについて

背上げをおこなう場合に便利

からだに負担をかけない

- 膝ボトムの角度を調節できます。膝ボトムは、水平から最大30度まで調節できます。
※背上げをおこなう場合、先に膝ボトムを上げておくと体のずれが少なくなります。
※からだに負担がかからないように調節します。

-  を押すと膝ボトムが上がります
-  を押すと膝ボトムが下がります




● 高さ調節について

乗り降りのときに高さを調節

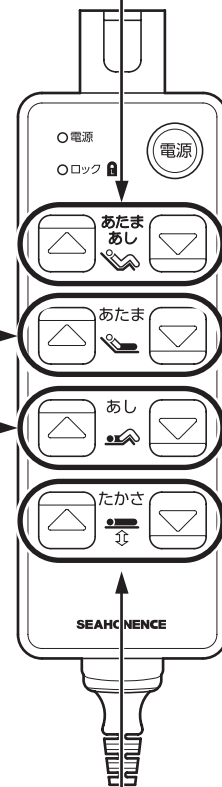
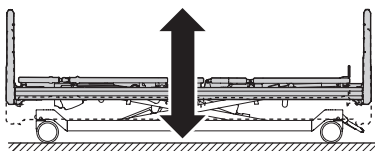
看護などをしやすい高さに調節するのに便利

ベッドの下や周辺を掃除するときに便利

- ベッドの高さを調節できます。床からボトムまでの高さは25~67.5cm(30~72.5cm)の間で調節できます。

-  を押すと高さが上がります
-  を押すと高さが下がります

(低床仕様).....床から25~67.5cm
(床走行リフト対応仕様)・・・床から30~72.5cm



操作ボタンについて(電動式ヘッドレスト付の場合)

手元スイッチのボタンで、ヘッドレスト、背ボトム、膝ボトム、ベッドの高さを無段階に調節できます。ボタンを押すと動き、離すとその位置で止まります。必要な位置まで動かしてお使いください。

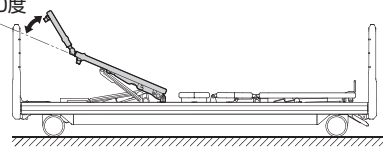
● ヘッドレストについて

誤嚥のリスクを減らす

- ▲ ヘッドレストが上がります
- ▼ ヘッドレストが下がります

背ボトムの面から30度

●ヘッドレストの角度を調節できます。
ヘッドレストは、背ボトム面から最大30度まで調節できます。



● 背上げについて

ベッドから起き上がるとき

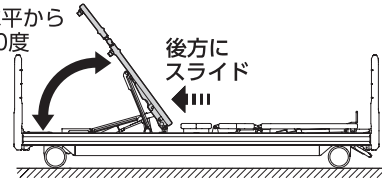
ベッドでの読書やテレビ鑑賞に便利

- ▲ を押すと背ボトムが上がります
- ▼ を押すと背ボトムが下がります

水平から70度

後方にスライド

●背ボトムの角度を調節できます。
背ボトムは、水平から最大70度まで調節できます。



● 膝上げについて

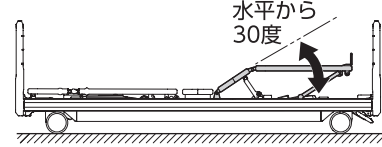
背上げをおこなう場合に便利

からだに負担をかけない

- ▲ を押すと膝ボトムが上がります
- ▼ を押すと膝ボトムが下がります

水平から30度

●膝ボトムの角度を調節できます。
膝ボトムは、水平から最大30度まで調節できます。
※背上げをおこなう場合、先に膝ボトムを上げておくと体のずれが少なくなります。
※からだに負担がかからないように調節します。



● 高さ調節について

乗り降りのときに高さを調節

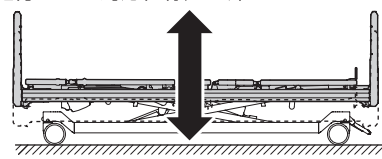
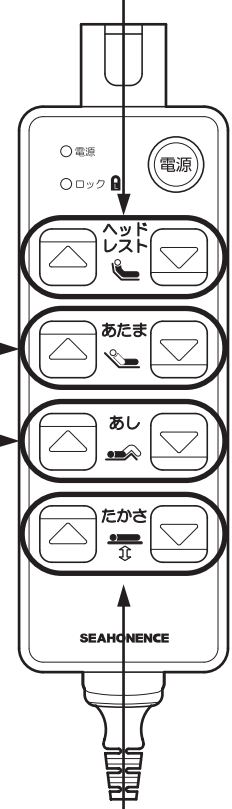
看護などをしやすい高さに調節するのに便利

ベッドの下や周辺を掃除するときに便利

- ▲ を押すと高さが上がります
- ▼ を押すと高さが下がります

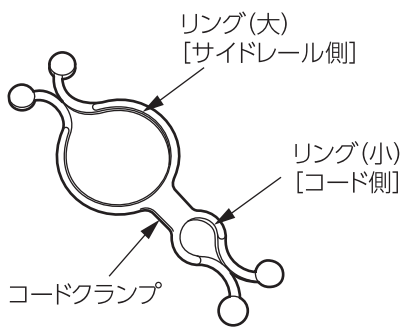
(低床仕様).....床から25~67.5cm
(床走行リフト対応仕様)・・・床から30~72.5cm

●ベッドの高さを調節できます。
床からボトムまでの高さは25~67.5cm(30~72.5cm)の間で調節できます。

使いかた

コードクランプについて



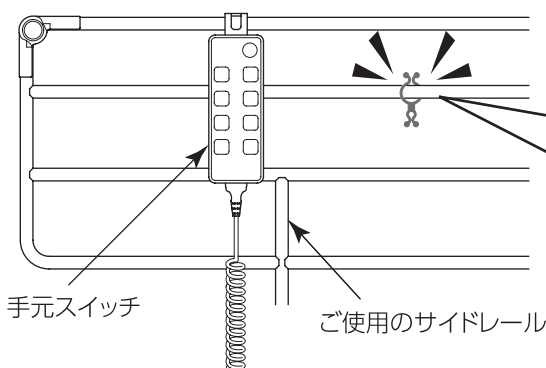
Point

こんなときに便利です

- 手元スイッチコードが、ゆかに接触して汚れてしまうのを防ぎたい。
- たれ下がった手元スイッチコードに、手や足を引っ掛けたりする危険があるので、たれ下がりを防ぎたい。
- たれ下がった手元スイッチコードを足やキャスターで踏んでしまうのを防ぎたい。

1 手元スイッチコードを固定したい場所に取り付ける

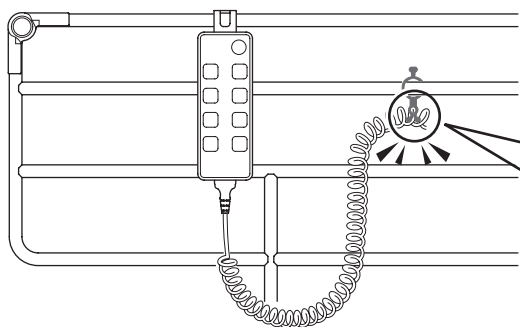
取り付け箇所はサイドレールのみとなります。



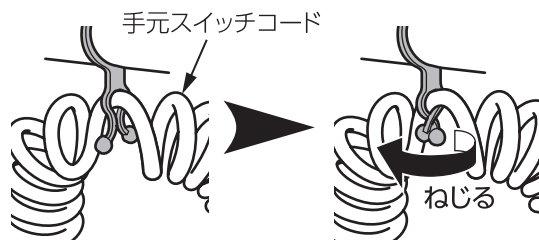
リング(大)にサイドレールのパイプを通し、先端部をねじって固定します。



2 手元スイッチコードを通して固定する



リング(小)に手元スイッチコードを通し、先端部をねじって固定します。



注意

ケガ・破損の原因になります

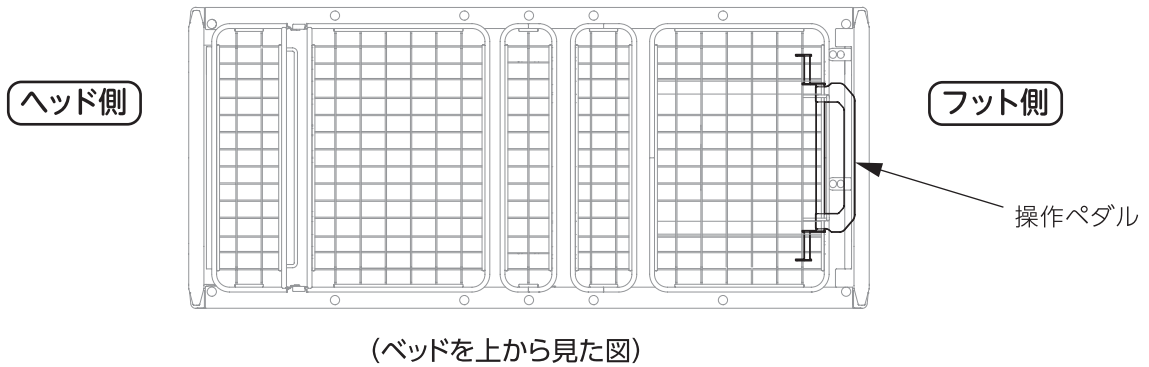
- ◆サイドレールのみに取り付け、乗り降りの邪魔にならない場所へ設置してください。
- ◆サイドレールへの取り付けや、手元スイッチコードの取り付けをした際は、必ずリング先端部をねじって固定してください。
- ◆衣服等に引っかからない場所へ取り付けてください。
- ◆手元スイッチコードを取り付けたコードクランプをサイドレールに固定している状態で、サイドレールを取り外さないでください。
- ◆手元スイッチは、サイドレールのベッド外側に取り付けてください。

7 ベッドの使いかた

キャスターロックの方法

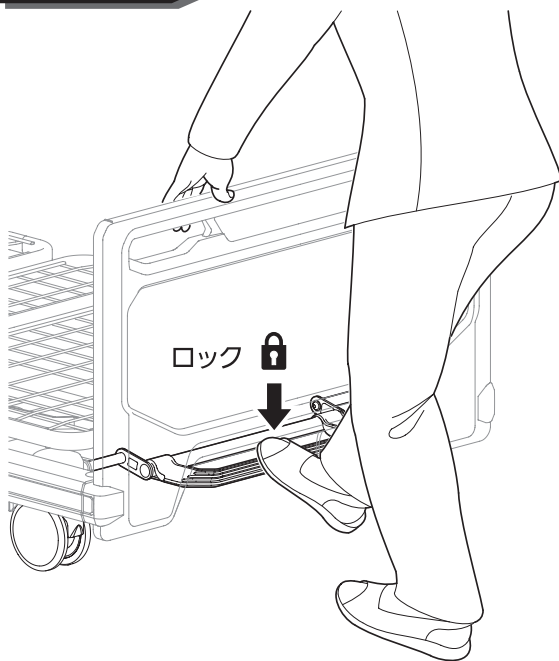
トータルロック方式の場合

キャスターのロック操作は、ベッドのフット側下部にある操作ペダルを使用します。操作ペダルを踏むことによって、キャスターの回転と旋回が4輪同時にロックされます。



● 操作ペダルの操作でキャスターのロックと解除が可能です。

ロックする



操作ペダルを踏みます。

ロック解除する



操作ペダルを跳ね上げます。

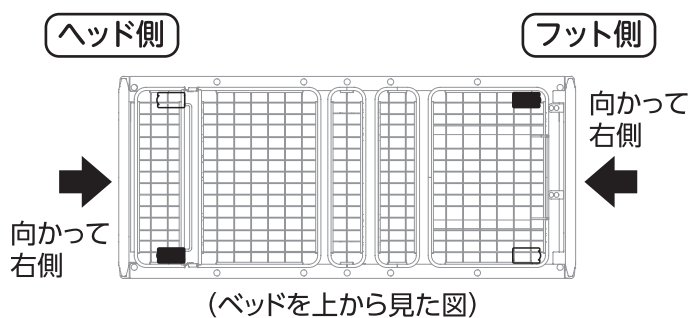
対角ロック方式および四輪ロック方式の場合

対角ロック方式の場合

ベッドを移動させる時は、ストッパー付きキャスターを解除します。

対角ロックキャスターのストッパーペダルは、ヘッド・フットボード側より向かって右側にあります。

ストッパーペダルを踏むことによって、キャスターの回転と旋回がロックされます。

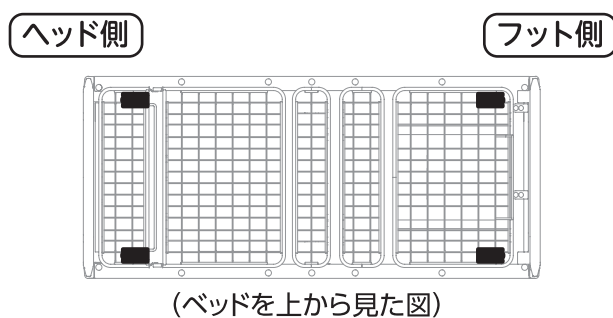


■ ストッパー付き
キャスター

□ ストッパーなし
キャスター

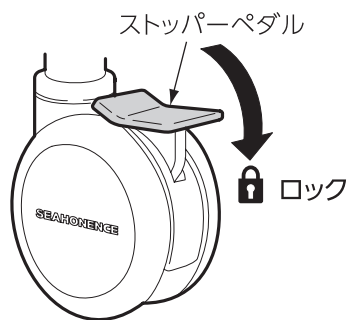
四輪ロック方式の場合

ベッドを移動させるときは、4輪全てのロックを解除してください。ベッドを移動させるとき以外は4輪全てをロックしてください。



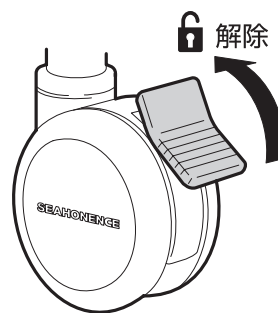
■ ストッパー付き
キャスター

ロックする



ストッパーペダルを踏み込みます。

ロック解除する



ストッパーペダルを押し上げます。



警告

事故、破損、ケガの原因になります

◆ベッドを移動させるとき以外は、必ずロックを掛けてください。

使用者がベッドに乗り降りする際に、ベッドが動いて思わぬけがをするおそれがあります。

◆キャスターがロックされた状態でベッドを無理に動かすと、故障の原因となりますので、絶対におこなわないでください。

ヘッドレストの操作方法

ヘッドレストは、首の角度を調整することでポジショニングによる姿勢を保持し、^{ゴエン}誤嚥のリスク等を軽減するための機能です。

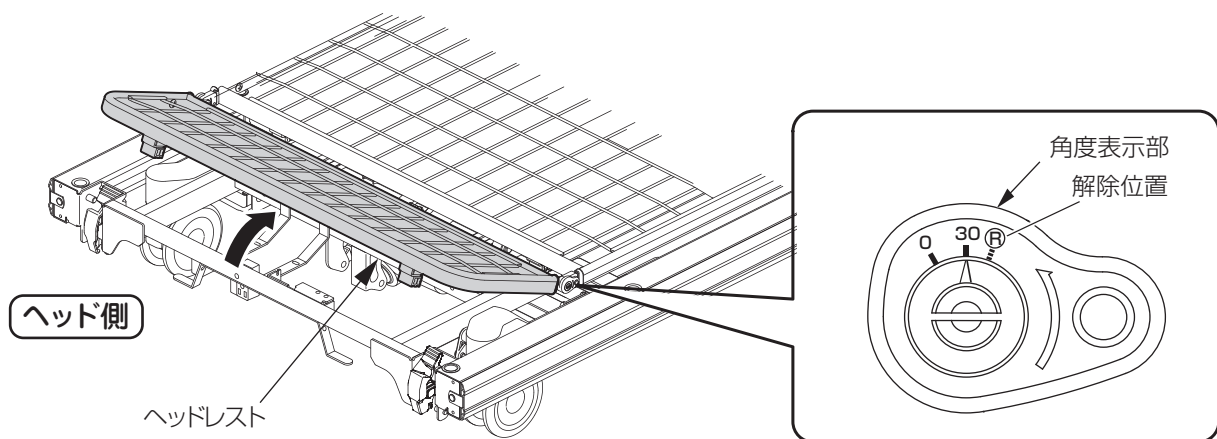
注意

- ◆ ヘッドレストを使用する場合は、背ボトムやヘッドレストの角度を上げすぎて、無理な姿勢にならないように注意してください。

手動式の場合

ヘッドレストを使用する際は、ヘッドレストを持ち上げ角度を調節してください(3度刻みで0~30度まで)。また、ご利用者様の首や頭部を手で支えながら行うことで、より安定した介助操作ができます。

解除の際は、ヘッドレストを角度表示部の解除位置まで起こすことでギアがフリーになり、ヘッドレストの角度を0度(フラット)に戻すことができます。

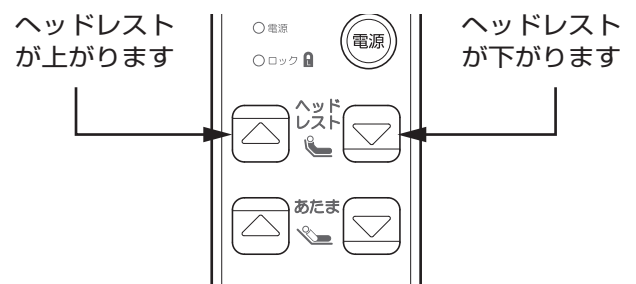


Point

- ヘッドレストの角度を調節する際は、操作がしやすい位置までベッドの高さを調節した後におこなってください。ご利用者様の首や頭部を支えることで、より安定した角度調節ができます。
- ヘッドレストをフラットな状態に戻す際は、状況に応じて背ボトム角度を調節したうえでおこなうことにより、ご利用者様の首への負担が軽減できます。

電動式の場合

電動仕様の場合は手元スイッチによりヘッドレストの角度を無段階で調節できます。ヘッドレストは0~30度の間で調節できます。

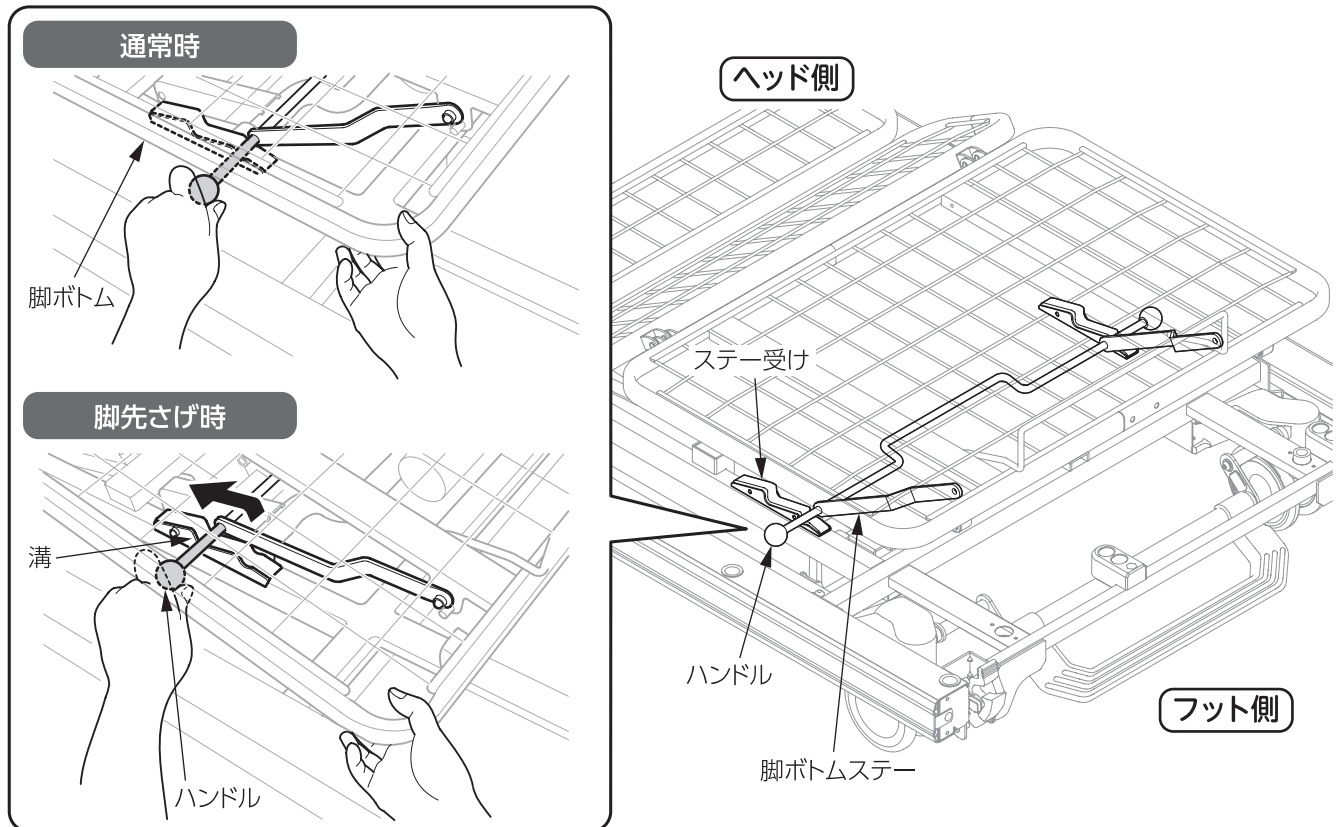


脚先角度調整の方法

足のむくみ対策のため、通常は膝上げ時に脚先を持ち上げる仕様となっています。脚ボトムステーの位置を変えることで、脚先さげ状態にすることができます。

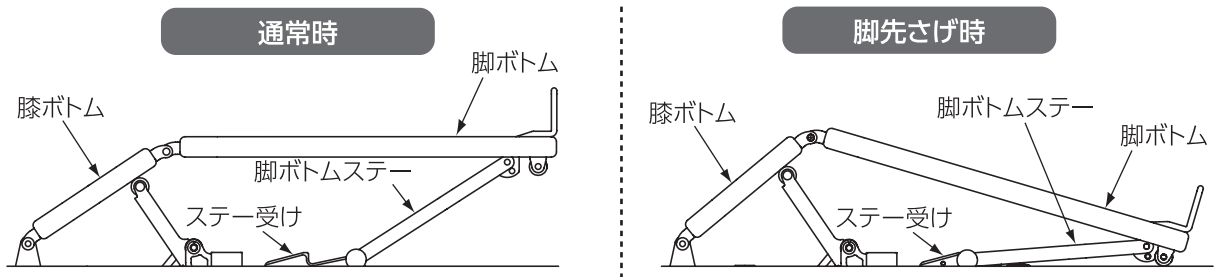
脚先さげの方法

脚ボトムを持ち上げ、裏側にある脚ボトムステーをステー受けの溝に合わせてください。



Point

- 脚ボトムステーを合わせる溝の位置により脚ボトムの持ち上げ角度が変わります。
- 脚先さげ時に脚ボトムをフラットの位置まで戻すと、ステーの位置が自動的に通常時へ移動します。



注意

ケガ・破損の原因になります

- ◆ 脚ボトムステーは、ステー受けの溝以外の位置に移動させないでください。
- ◆ 角度調整は、手や腕などをはさまないように注意してください。
- ◆ ご利用者様をのせた状態で脚ボトム角度を調整する場合は、2人以上でベッドの両側からおこなってください。

アングルスケールについて

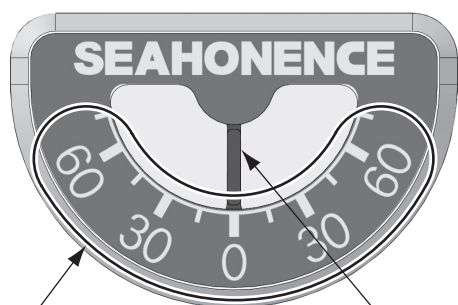
背ボトムの角度を確認することができます。

Point

- ご利用者様の状態と背ボトム角度が容易に確認できます。
- ご利用者様の状況に合わせて、必要な角度へ調整するときの目安になります。

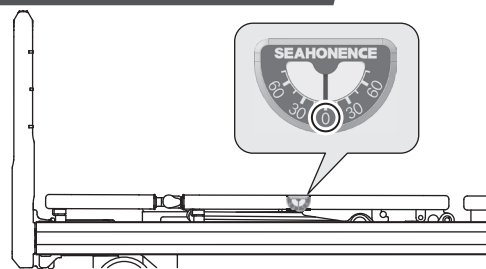
アングルスケールの見かた

アングルスケールの表示例

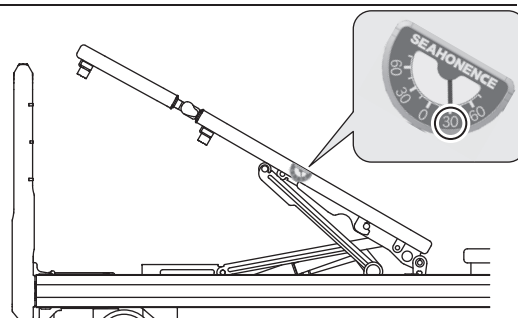


ボトムの角度数値
0～60度までを、
15度刻みで表しています

角度表示針



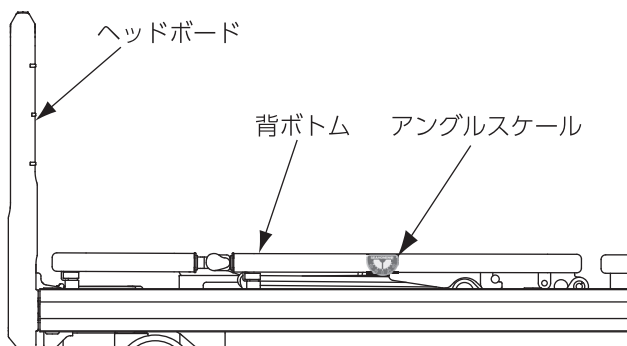
角度表示針が0度を指しているので、
ボトム角度は0度となります。



角度表示針が30度を指しているので、
ボトム角度は30度となります。

アングルスケールの取付け位置

アングルスケールは、背ボトムの左右に
1つずつ取り付けています。



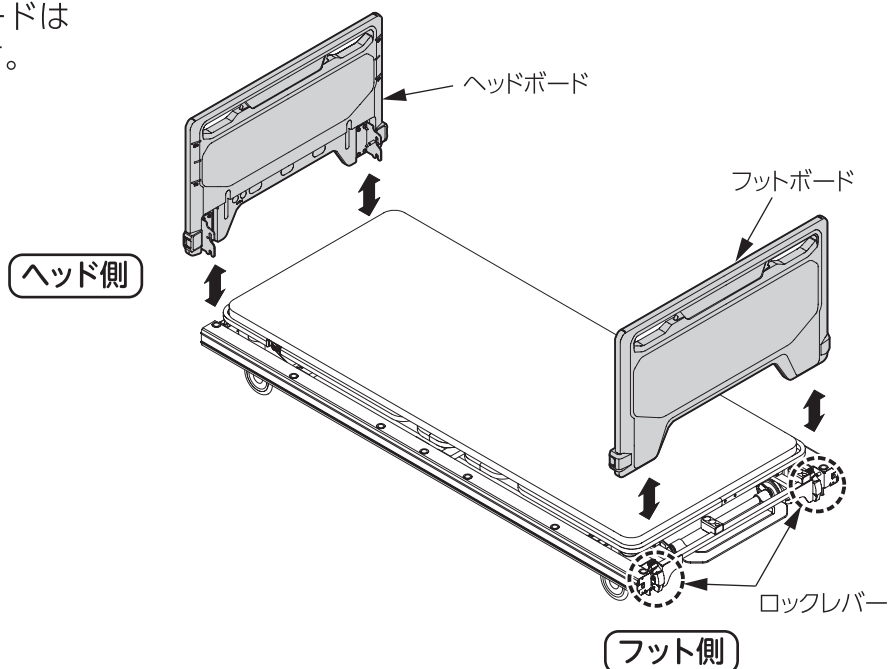
⚠ 注意

- ◆ アングルスケールを分解しないでください。
- ◆ アングルスケールを背ボトムから無理やり取り外さないでください。
- ◆ アングルスケールに衝撃を与えないでください。特にサイドレールや回転式アーム介助バーなどを取り付けたり、取り外しの際はご注意ください。

8 ベッド付属部品の取付け・取外し

ヘッドボード・フットボードの取付け・取外し

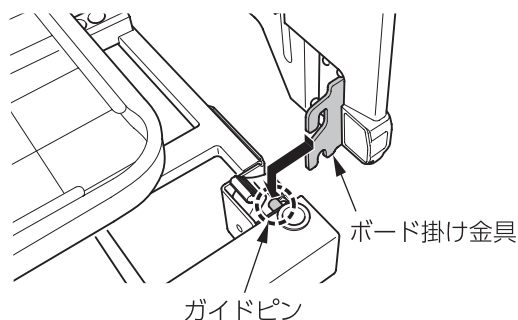
ヘッドボード・フットボードは
取付け・取外しが可能です。



取付けかた

1 ヘッドボードを取り付ける

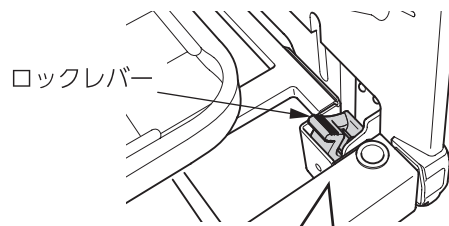
ヘッドボード（フットボード）を両手で持ち上げ、ボード掛け金具（2ヶ所）がベッド本体のガイドピン（2ヶ所）に引っ掛かるようにして取り付けます。



2 ロックする

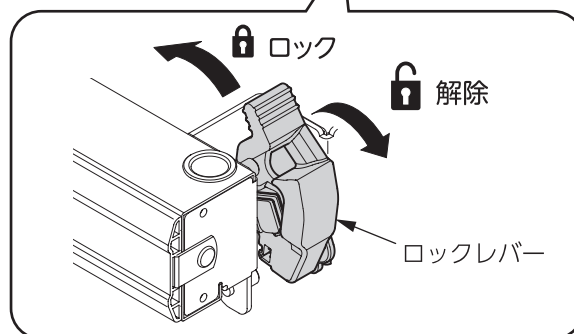
取り付けた際、ロックレバーが自動でロック状態になります。

※取り付けた後はロックレバーが確実にロック状態になっているか必ず確認してください。



取外しかた

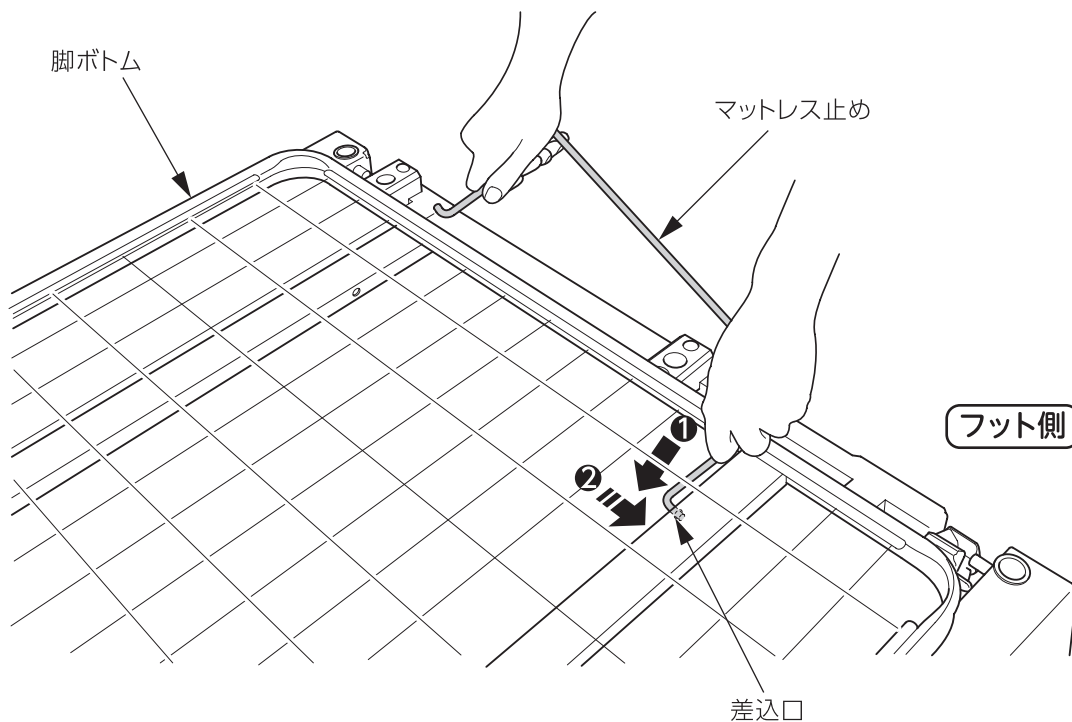
ロックレバーを解除側に倒し、ボードを両手で持ち上げて取り外してください。



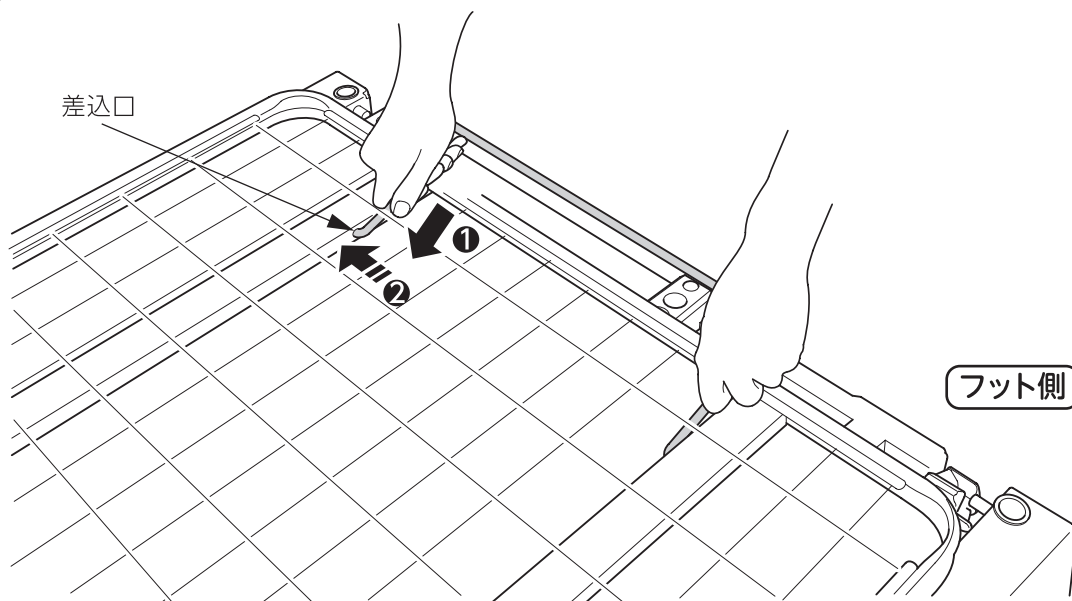
マットレス止めの取付け・取外し

取付けかた

- 1 マットレス止めの片側を差込口に差し込む



- 2 反対側の差込口にもマットレス止めを差し込む



取外しかた

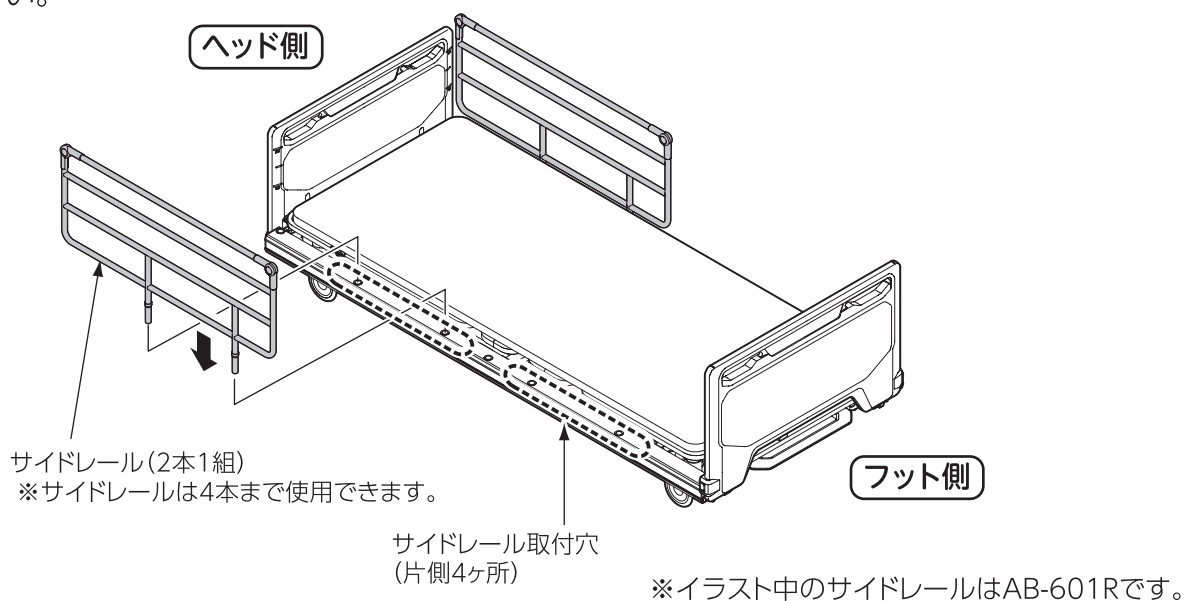
取外しは、取付けと反対の手順でおこなってください。

オプション

9 オプション品について

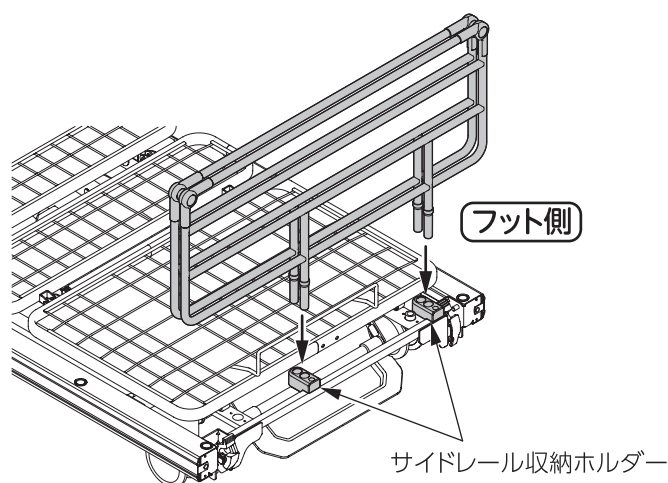
サイドレール

ベッド両側のサイドレール取付穴を利用してサイドレールを使用できます。サイドレールは、ベッドで寝ている方の転落予防、寝具の落下防止を目的としています。立ち上がり時など、支えが必要な場合は回転式アーム介助バーをお使いください。ご利用者様の状況に応じて、サイドレールのすき間への入り込みを防止する別売の各種カバーをお使いください。



サイドレールの収納のしかた

フットボードと脚ボトムの上にサイドレールの収納ホルダーを設けています。サイドレールを使用しないときはここに1セット(2本)収納できます。



※図はフットボードを外した状態です。

注意

- ◆フット側サイドレール取付穴にサイドレールを差し込んでいる場合は、サイドレール収納ホルダーを使用することはできません。

折りたたみサイドレール

ベッド両側のサイドレール取付穴を利用して折りたたみサイドレールが使用できます。サイドレールは、ベッドで寝ている方の転落予防、寝具の落下防止を目的としています。立ち上がり時など、支えが必要な場合は回転式アーム介助バーをお使いください。

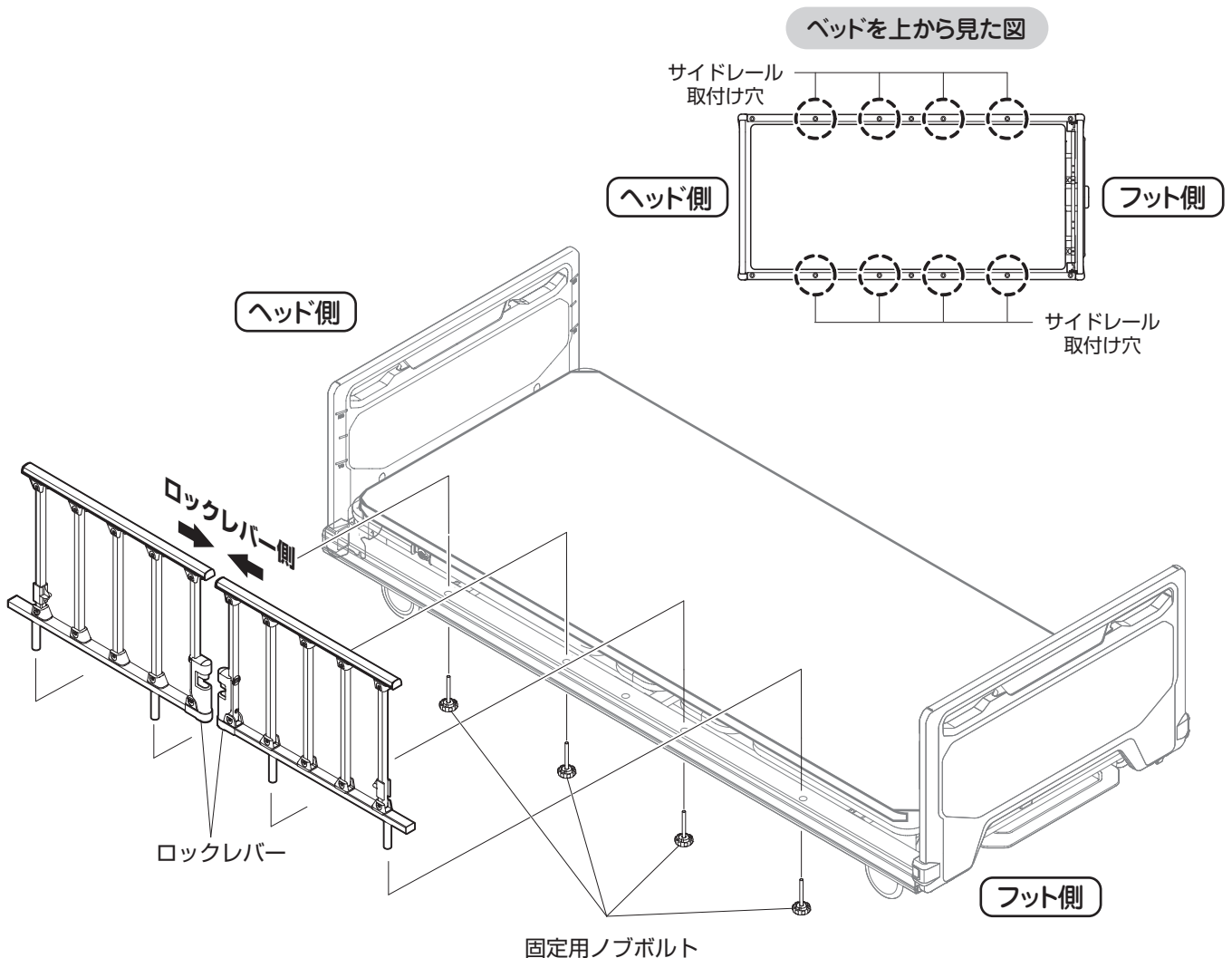
適合折りたたみサイドレール

品番

・ AB-026X ・ AB-031X

AB-031Xの取付かた

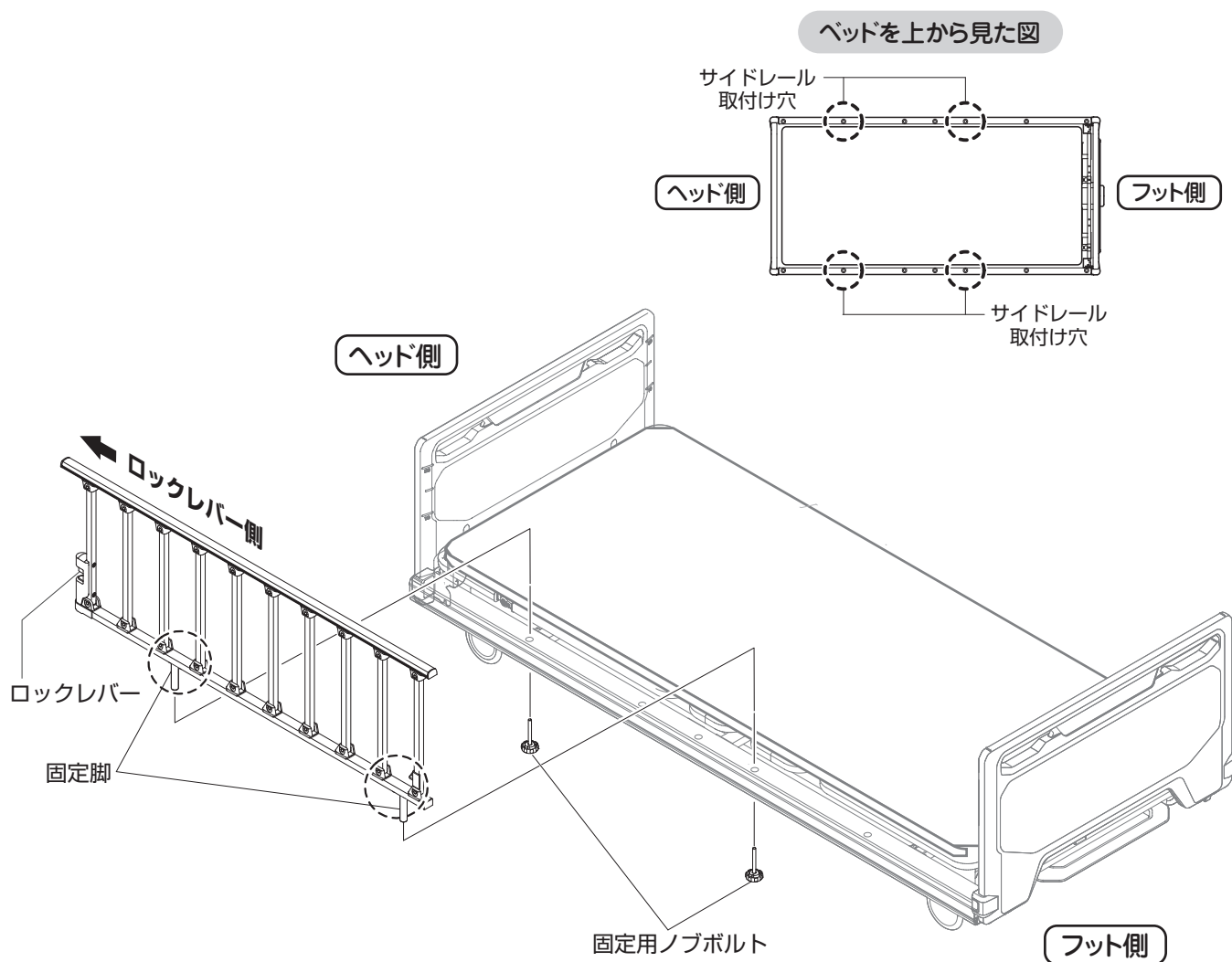
- 1 折りたたみサイドレールのロックレバー側が向き合うように方向を合わせます。
- 2 折りたたみサイドレールの固定脚をサイドレール取付穴に差し込んでください。
- 3 ベッドのサイドレール取付穴下面より固定用ノブボルトで締め込みます。
- 4 折りたたみサイドレールが確実に固定されていることを確認してください。



折りたたみサイドレール

AB-026Xの取付けかた

- 1 折りたたみサイドレールのロックレバー側がベッドのヘッド側になるように折りたたみサイドレールの方向を合わせます。
- 2 折りたたみサイドレールの固定脚をサイドレール取付け穴に差し込んでください。
- 3 ベッドのサイドレール取付け穴下面より固定用ノブボルトで締め込みます。
- 4 折りたたみサイドレールが確実に固定されていることを確認してください。



注意

破損・ケガをします

- 折りたたみサイドレールを取り付けるときは、折りたたみサイドレールが使用状態でロックされていることを確認してください。

回転式アーム介助バー

ベッド両側のサイドレール取付穴を利用して回転式アーム介助バーを使用できます。介助バーはベッドでの起き上がりやベッドからの立ち上がりを補助することを目的としています。使用する方の状況に応じて、防止する別売りの各種カバーをお使いください。

適合回転式アーム介助バー

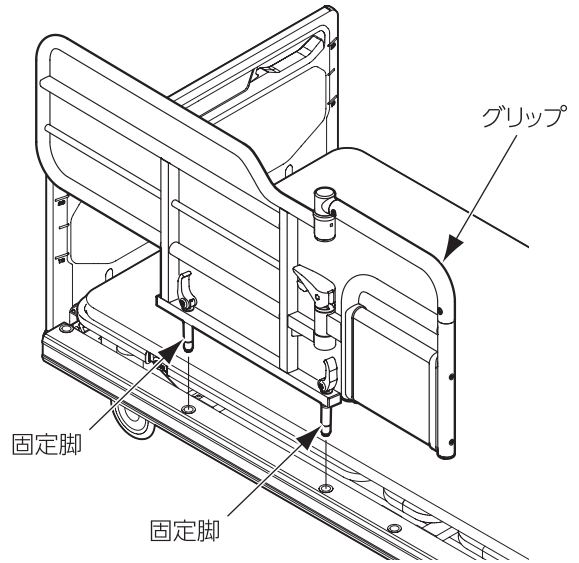
品番

・AB-50R ・AB-42R

AB-50Rの取付けかた

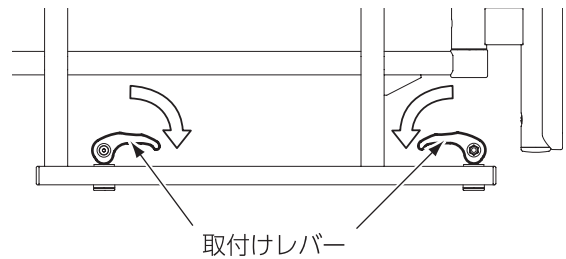
1 回転式アーム介助バー (AB-50R) を取り付ける

取付けレバーが上がっている状態にし、グリップを固定したまま、回転式アーム介助バーの固定脚をベッドのサイドレール取付穴に差し込みます。



2 ロックする

固定脚がサイドレール取付穴に根元まで入っていることを確認して、取付けレバーを一番下まで下げます。



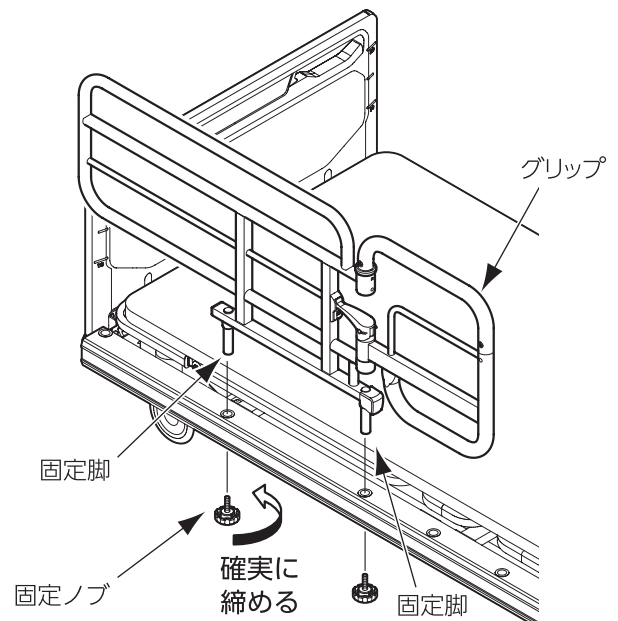
AB-42Rの取付けかた

1 回転式アーム介助バー (AB-42R) を取り付ける

グリップを固定したまま、回転式アーム介助バーの固定脚をベッドのサイドレール取付穴に差し込みます。

2 ロックする


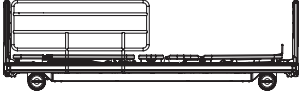
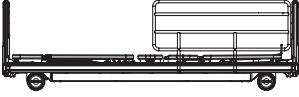

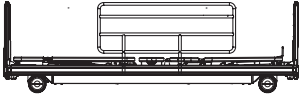
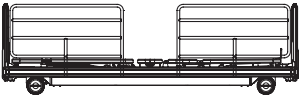
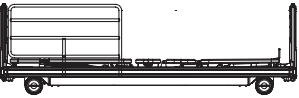
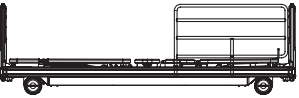
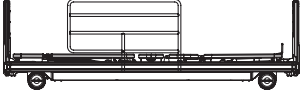

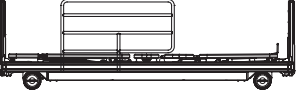
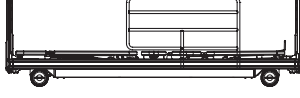



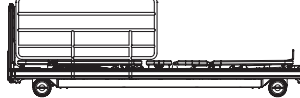
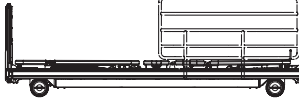
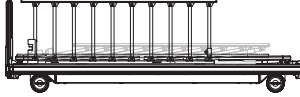
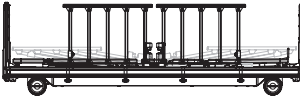
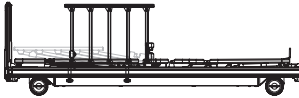
固定脚がサイドレール取付穴に根元まで入っていることを確認して、付属の固定ノブをサイドレール取付穴の下側から取り付けます。本体がグラつかないようにしっかりと締め付けてください。



サイドレールの組み合わせ適合表

AXシリーズに取付けることができるサイドレールの組み合わせは下表のとおりです。

● サイドレールの組み合わせ

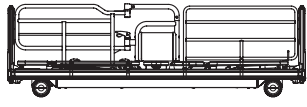
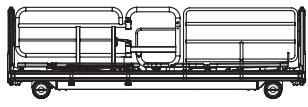
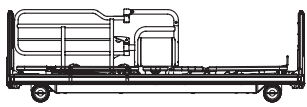
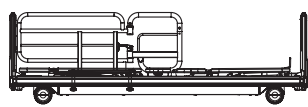
AB-600R (AB-601R)			
			
AB-600S (AB-601S)			
			
			
AB-610R (AB-611R)			
			
AB-026X			
AB-031X			

バック側

フロント側

回転式アーム介助バーとサイドレールの組み合わせかたは下表のとおりです。

● 回転式アーム介助バーを使用した組み合わせ

ヘッド側	AB-50R		AB-600S (AB-601S)	フット側	ヘッド側	AB-42R		AB-600S (AB-601S)	フット側
	AB-50R		なし			AB-42R		なし	

● サイドレール用カバー適合表

サイドレール用カバー適合表	
サイドレール品番	適合カバー品番
AB-600R AB-601R	CK-600R CK-170R
AB-600S AB-601S	CK-600S
AB-610R AB-611R	CK-610R

● 回転式アーム介助バー用カバー適合表

回転式アーム介助バー用カバー適合表	
回転式アーム介助バー品番	適合カバー品番
AB-50R	CK-50R
AB-42R	CK-40RX



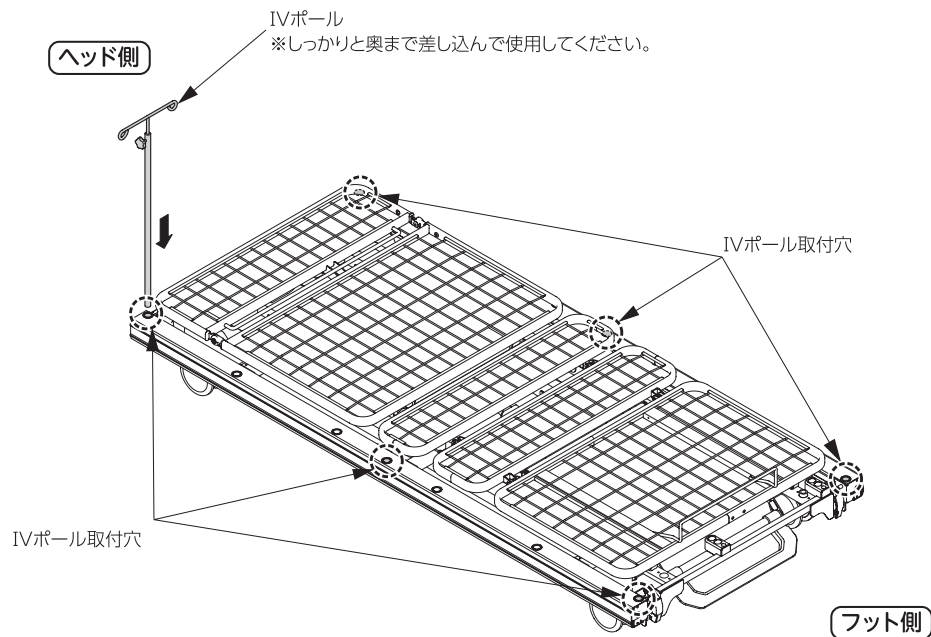
警告

事故・破損・ケガの原因になります

- ◆ サイドレールを取り付ける際は、オプション受けの穴に異物が入っていないことを確認してください。
異物が入っていると確実に取り付けることができず、ベッドからの転落や、意図せぬすき間が発生することにより、身体の一部がはさまれてケガをするおそれがあります。
- ◆ 回転式アーム介助バーはベッドに確実に固定してください。
固定しなかったり、固定が不十分な場合、つかまった際に転倒してケガをするおそれがあります。

IVポール (AB-1102)

IVポールを取付けることにより、輸液バッグなどを掛けることができます。ベッド本体に片側3ヶ所(計6ヶ所)あるIVポール取付穴に差し込んで使用してください。



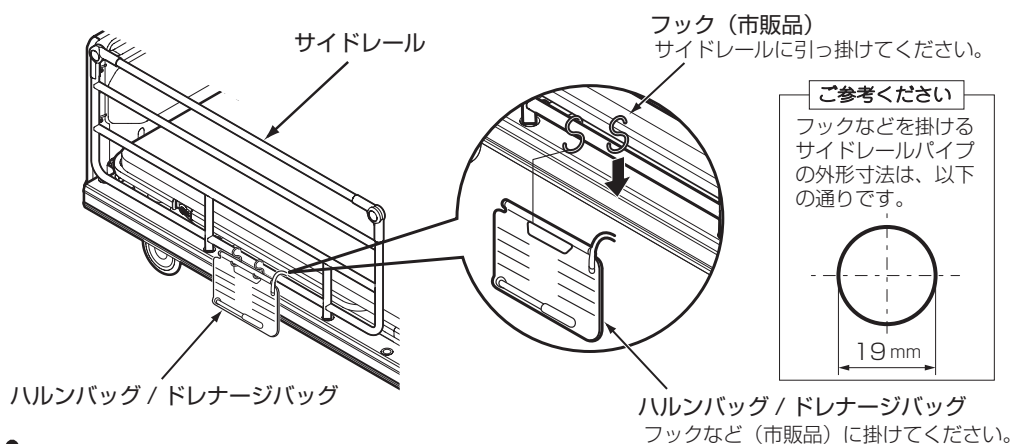
警告

- ◆IVポールを差し込んだままでIVポールを持つてのベッドの移動はしないでください。
- ◆点滴用のチューブなどをIVポールやベッドにはさまないように注意してください。チューブなどが外れてけがをしたり、チューブなどが破損・変形したりするおそれがあります。

ハルンバッグ・ドレナージバッグ

ハルンバッグやドレナージバッグに付いている固定具にて、本体に装着したサイドレールに取り付け、固定することができます。

※ハルンバッグやドレナージバッグに固定具などが付いていない場合は、フックなど（市販品）をご利用ください。（下図参照）



注意

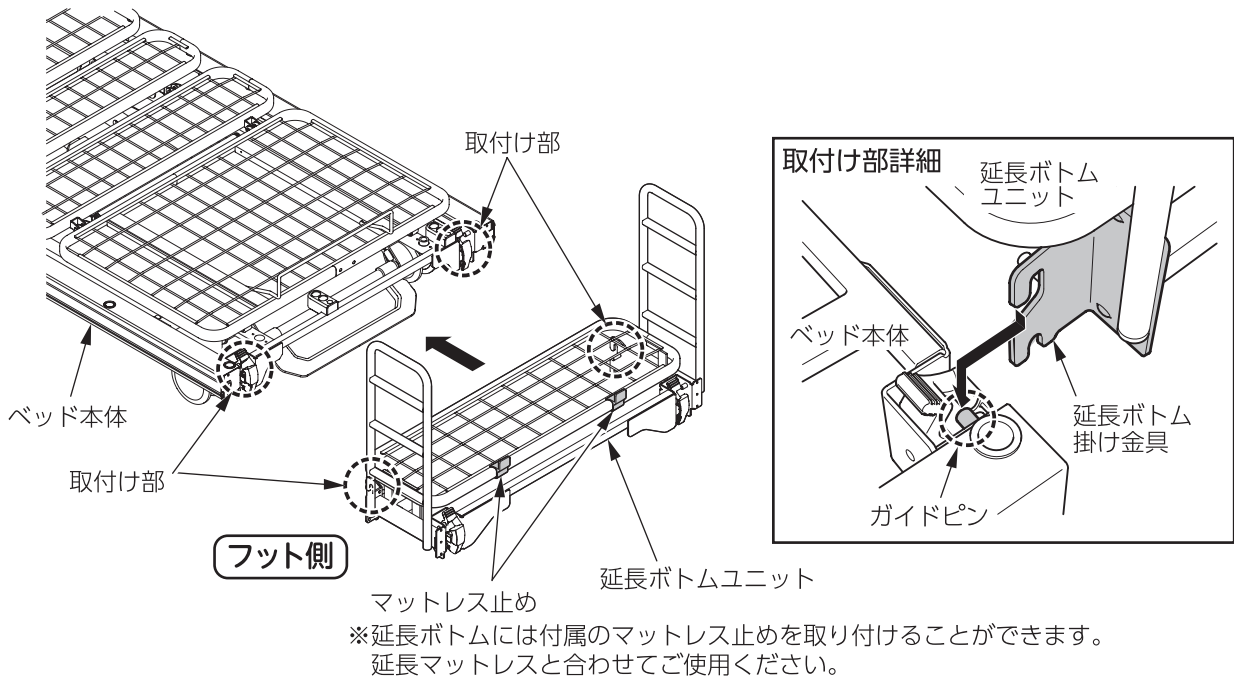
- ◆フックなど（市販品）をご使用の際は、ご利用者様の使用環境に合ったものをお使いください。
- ◆ハルンバッグまたはドレナージバッグの取扱説明書をよくお読みになってから、サイドレールに取り付けてください。
- ◆ハルンバッグまたはドレナージバッグを取り付けたサイドレールの着脱操作は、行わないでください。

延長ボトムユニット (AF-100、AF-100W)

延長ボトムユニットを取り付けることで、ボトムの長さを27cm延長することができます。ご利用者様の症状や使用環境にあわせてご利用ください。延長ボトムユニットを使用する場合は、延長マットレス(別売)と一緒にご使用ください。

取付けかた

ベッドのフット側にボードが取り付けられている場合は先に取り外してください。延長ボトムを持ち上げ、延長ボトム掛け金具(2ヶ所)がベッド本体のガイドピン(2ヶ所)に引っ掛かるようにして取り付けてください。(ロックレバーは自動でロックされます) また、付属のマットレス止めは図中の位置に取り付けることができます。 ※取り付け後はロックレバーが確実にロック状態になっているか必ず確認してください。 また、取り外したフット側のボードを延長ボトムユニットに忘れず取り付けてください。



取外しかた

延長ボトム側を解除側に倒し、延長ボトムを両手で持ち上げて取り外してください。

Point

- 延長ボトムを取り付けた場合は、ロックペダルの操作が若干しづらくなります。

マットレス

マットレス

■支援用具があれば日常生活が可能な方に適応

DUO WAVE (デュオウェーブ)

MB-5104 M/L
MB-5203 M/L
MB-5204 M/L

- 腰をかけたとき、手をついたときの沈み込みが少なく、安定性と体圧分散性に優れています。
- 独自のダブルウェーブ構造によりベッドの動きに合わせてしなやかに曲がります。
- 体圧を維持する適度な硬さと長時間の使用にもへたがりありません。
- 通気性・通水性があるので、カビや雑菌などが繁殖しにくく、清潔さを保てます。
- 上下、裏表の区別はありません。
- マットレスの厚さはMB-5104Mが5.5cm、そのほかのマットレスは8cmです。

■好みによって使い分けることができる【硬め】、【柔らかめ】のダブルフェース

リバーシブルマットレス

MA-3003 M/L

- ソフトフェース面は、全体的に柔らかく身体に優しくフィットして自然な寝姿勢を保つことができます。
- ハードフェース面は、全体的に硬めで不自然な身体の沈み込みを抑えて寝返り時の安定性に優れています。
- 通気性・通水性があるので、カビや雑菌などが繁殖しにくく、清潔さを保てます。

■体圧分散効果とリハビリを促進する床ずれ予防マットレス

C-MAX (シーマックス)

SA-2033 M/L

- シーホネンス独自のオリジナルウレタン構造により高い体圧分散効果を発揮します。
- マットレス底面は、底づきを防止するため硬めのウレタンフォームを使用しています。ベッドの背上げ・膝上げに合わせて柔軟に曲がるようにスリット加工を施しています。
- マットレス両サイドは、しっかりと安定した端座位姿勢がとれるように、また起き上がり時に手や肘を使ってしっかりと上体を起こすことができるよう硬めのウレタンフォームを使用しています。
- 抗菌、難燃、清拭が可能な防水性のカバー生地を使用しています。

■高反発ウレタン素材とスリット加工によりベッドの動きにフィットしたマットレス

Fit Tex (フィットテックス)

SA-1023 M/L

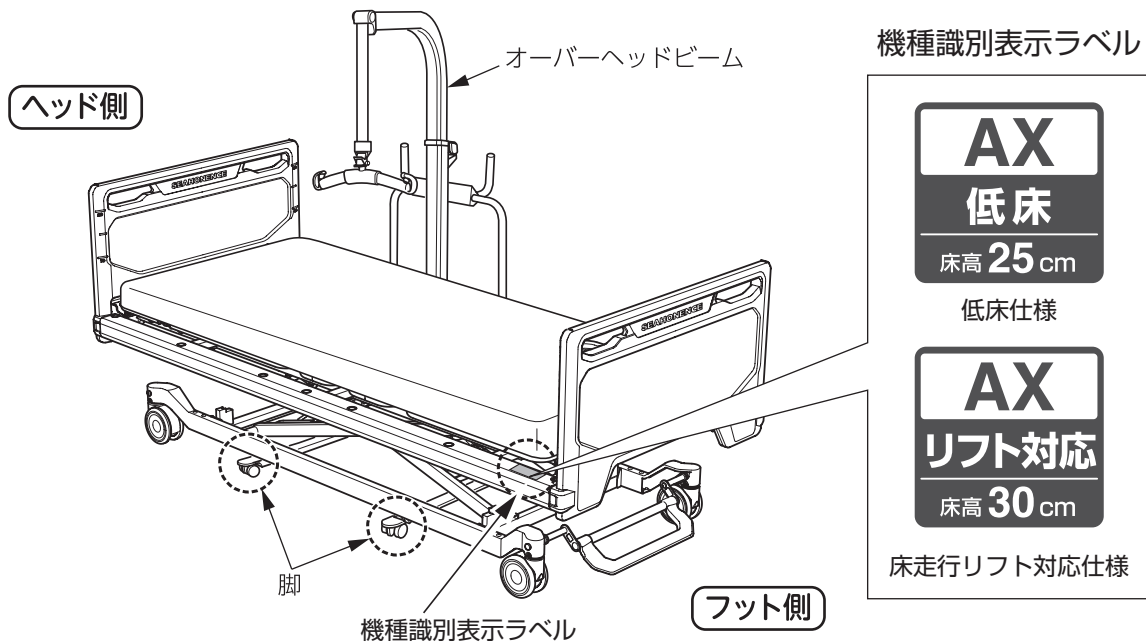
- ほどよい柔らかさの高反発ウレタンフォームを使用しており、快適な弾力でからだを安定して支えるとともに体動を吸収してリラックスできる寝心地をご提供します。
- マットレス全体にスリット加工を施すことで体圧を分散するとともに、ベッドの背上げ・膝上げの動きに合わせて柔軟に曲がります。
- 抗菌、難燃、清拭が可能な防水性の側生地を使用しています。

[寸法] M : 83cm幅 L : 90cm幅

10 介護リフト使用時のご注意

ベッドが床走行リフト対応仕様の場合、下図のように床走行式電動介護リフトが使用できます。当社取扱のLiko床走行リフト「ゴルボ8008」「ゴルボ8008 LowBase」「バイキングM」「サビナ200」「サビナII EE」の使用を推奨します。ベッドが低床仕様の場合は使用できないので、必ず床走行リフト対応仕様のベッドでお使いください。

※ ベッドの仕様はフット側サイドフレーム上部の機種識別表示ラベルにより確認することができます。



※イラスト中のベッドは低床仕様です。

		介護リフト適合表				
		ゴルボ8008	ゴルボ8008 LowBase	バイキングM	サビナ200	サビナII EE
ベッド仕様	低床仕様	×	△*	×	×	×
	床走行リフト対応仕様	○	○	○	○	○

※床の状態によりベッドが沈みこんでいる場合は使用できない場合があります。

警告

事故・破損・ケガの原因になります

- ◆床走行式電動介護リフト付属の取扱説明書を必ず読んでください。
- ◆ベッドを上げるときや、オーバーヘッドビームを下げるときは、はさみ込みに十分注意してください。
- ◆床走行式電動介護リフトの脚をベッドの下に差し込むときは、電源コードを踏んだり、乗り越えたりしないでください。
電源コードが破損することにより、感電・火災のおそれがあります。

11 日常のお手入れ

拭き掃除をする場合は柔らかい布を使用し、水で薄めた中性洗剤に浸してよく絞っておこなってください。その後、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
洗剤を使用する場合は下記の薬品を指定の濃度に薄めてご使用ください。

消毒用エタノール	76.9%～81.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・オスバンは、日本製薬 (株) の登録商標です。 ・ヒビデンは、アストラゼネカ・ユーケイリミテッドの登録商標です。 ・ハイアミンは、ロンザ インコーポレイテッドの登録商標です。
塩化ベンザルコニウム液(オスバン)	0.05%～0.2%	
塩化ベンゼトニウム液(ハイアミン)	0.05%～0.2%	
クロルヘキシジン液(ヒビデン)	0.05%	

- ◆事故を防止するため、必ず電源プラグとバッテリーケーブルを抜いておこなってください。
- ◆揮発性のもの(シンナー、ベンジン、アセトン、クレゾール)などは絶対に使用しないでください。本体が変色したり、塗装がはがれたりします。水で薄めた中性洗剤をご使用ください。

12 故障かな?と思ったら

故障でない場合がありますので、修理を依頼される前に以下の項目をチェックしてください。それでも直らない場合は、ベッドの使用を中止して、電源プラグとバッテリーケーブルを抜き販売店に修理をご依頼ください。

症状	チェック	処置
ベッドが動かない	手元スイッチの電源ランプ (緑色のランプ) が点灯していますか?	電源ボタンを押してください。
	電源ボタンを押しても電源ランプ (緑色のランプ) が点灯しない。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	手元スイッチコードが差し込みポートから抜けかけていませんか?	手元スイッチコードをサイドフレーム内側の差し込みポートにしっかりと差し込んでください。 ▶ 17 ページ 参照
	手元スイッチのロックランプ (オレンジ色のランプ) が点灯していませんか?	ロックを解除してください。
	長時間連続で操作していませんか?	20 ～ 30 分後に操作してください。
	コンセントに電源はきていますか?	コンセントに他の電気器具のプラグを差し込んで確認してみてください。
	バッテリーケーブルが接続端子に差し込まれていますか?	バッテリーケーブルを接続端子に差し込んでください。 ▶ 16 ページ 参照
	バッテリーが充電切れになっていませんか?	ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んで、バッテリーの充電をしてください。充電は 24 時間で完了します。
ボトム、ベッドの高さが上がらない	ベッド周辺、可動部に障害物はありませんか?	障害物を取り除いてください。
ベッドの移動ができない	キャスターがロックされていませんか?	キャスターのロックを解除してください。 ▶ 22 ページ 参照
ボードが外れない	ボードのロックレバーがロックされていませんか?	ロックレバーを解除の状態にしてください。 ▶ 27 ページ 参照

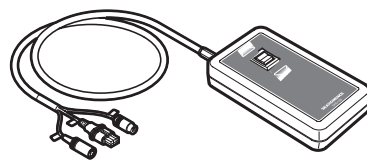
13 緊急時の背下げ操作(停電・故障時などの対応)

AXシリーズは、背ボトムが上がっている状態で停電などの緊急時に背ボトムが下げられなくなった場合に、手動で背ボトムを下げるすることができます。

「背下げの方法」には、“セーフティハンドスイッチを使用する方法”と、セーフティハンドスイッチを使用しないで“手動で行う方法”の2つがあります。

Point

- セーフティハンドスイッチ(SHS-135【別売】)をご用意いただくことで、急な停電で電源が確保できない緊急時でも、安全にベッドを操作することができます。
- セーフティハンドスイッチを使用するとベッドの背ボトム「下げ」以外にも、膝ボトム「上げ・下げ」操作、ベッドの高さ「下げ」操作をおこなうことができます。



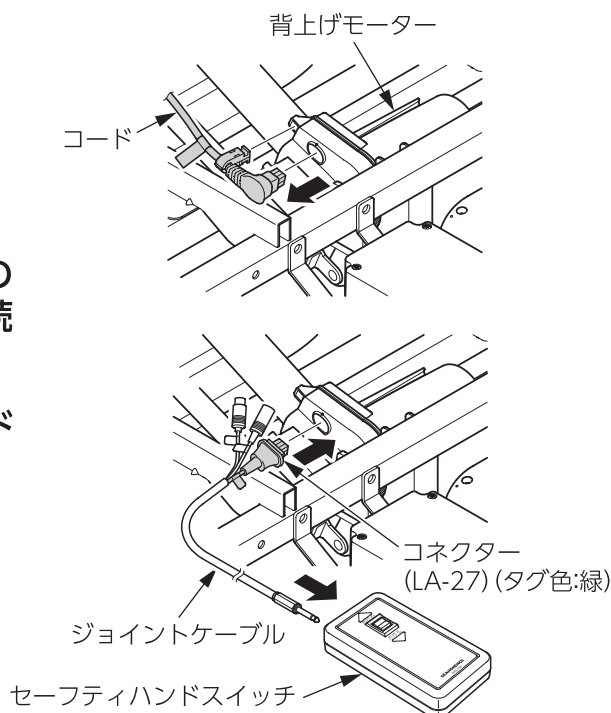
⚠ 注意

事故・破損・ケガの原因になります

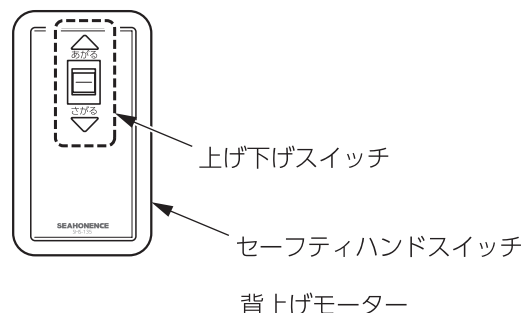
- ◆療養されている方・寝具をベッドから降ろして作業をおこなってください。
- ◆背ボトムを手で支えて作業をおこなってください。
- ◆電力が回復するまで、電源プラグはコンセントから抜いてください。
- ◆ボルト、ナットを外す際は、スパナ(17mm)を使用してください。

セーフティハンドスイッチ (SHS-135) 【別売】 を使用する方法について

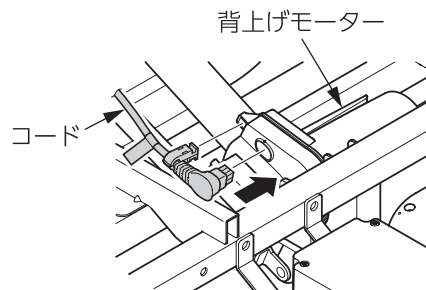
- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 作業をしやすくするため、ヘッドボードを取り外す 27ページ 参照
- 3 背ボトムを持ち上げる
- 4 背上げモーターからコードを抜く
- 5 背上げモーターにジョイントケーブルのコネクタ(LA-27) (タグ色:緑)を接続する
- 6 ジョイントケーブルをセーフティハンドスイッチに接続する



- 7 セーフティハンドスイッチの上げ下げスイッチを操作して背ボトムを一番下まで下げる



- 8 背上げモーターからセーフティハンドスイッチのジョイントケーブルコネクターを抜き、手順 4 で抜いたコードを接続する

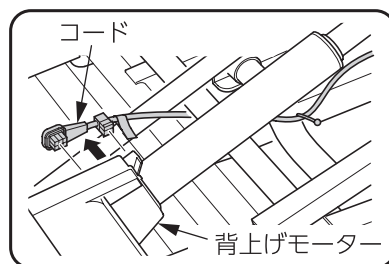


- 9 背ボトムを手で支えながら降ろす

- 10 ヘッドボードを取り付ける **27ページ** 参照

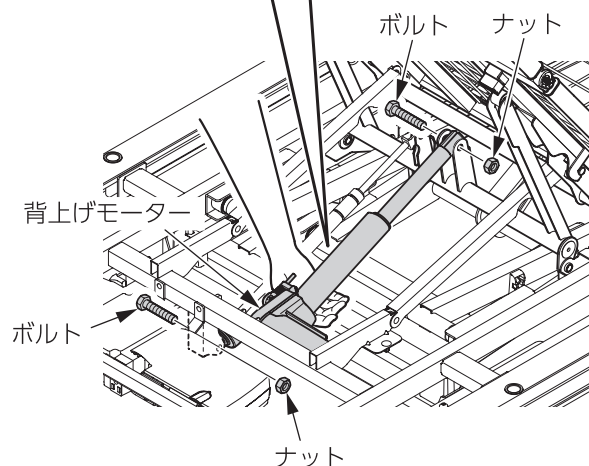
手動で行う方法について

- 1 電源プラグをコンセントから抜く
- 2 作業をしやすいするため、ヘッドボードを取り外す **27ページ** 参照
- 3 背ボトムを持ち上げる
- 4 背上げモーターからコードを抜く
- 5 背上げモーター両端のボルトとナットを、17mmのスパナで取り外す



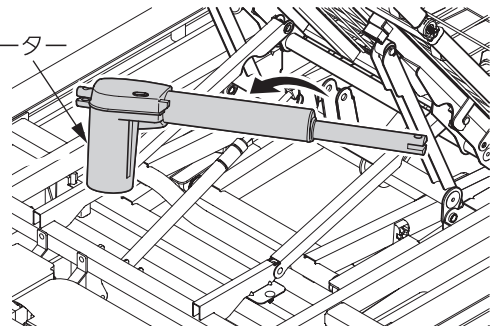
Point

- 外したボルトとナットは、背ボトムを元に戻す際に使用します。紛失しないように保管してください。



6 背上げモーターを取り外し床に降ろす

背上げモーター



7 背ボトムを手で支えながら降ろす

8 ヘッドボードを取り付ける **27ページ 参照**

復帰の方法

Point

- セーフティハンドスイッチ (SHS-135) 【別売】を使用して背下げをおこなったときは、以下の作業は必要ありません。電力の回復が確認できたら、電源プラグをコンセントに差し込み使用を開始できます。

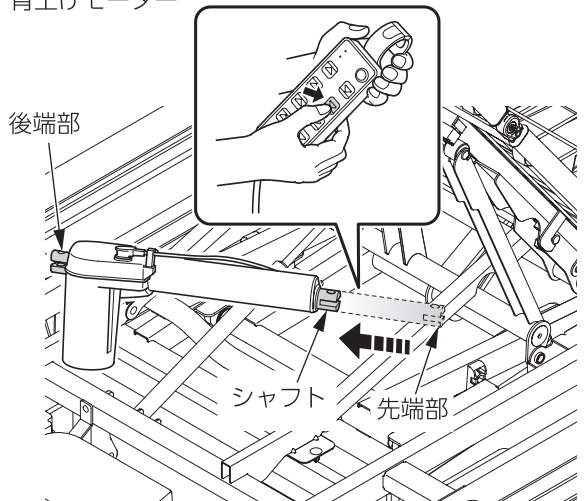
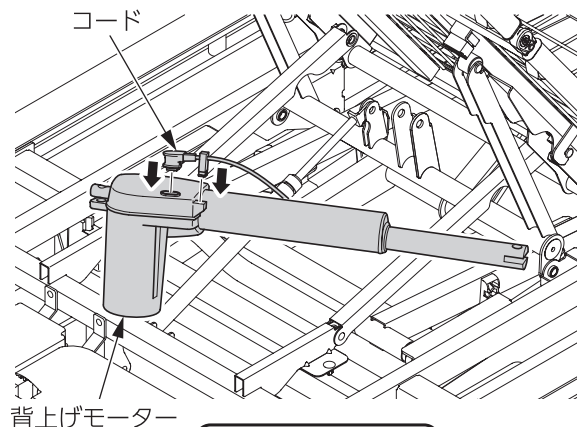
電力が回復したら以下の手順でベッドをもとの状態に戻してください。

1 作業をしやすくするため、ヘッドボードを取り外す **27ページ 参照**

2 電源プラグをコンセントに差し込む

3 背上げモーターに、背下げ作業時に抜いたコードを差し込む

4 手元スイッチの「あたま」の「▽さがる」ボタンを押して背上げモーターのシャフトを最後まで引き込む



注意

事故・ケガの原因になります

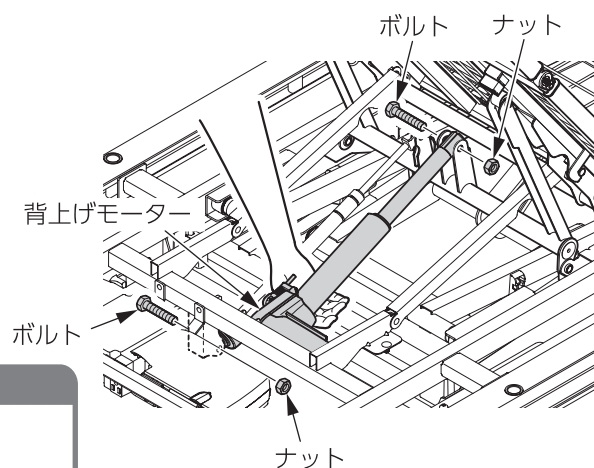
- ◆操作が完了し次の作業をする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 5 背ボトムを持ち上げる
- 6 背上げモーターを支えながら、後端部のボルトを通し、ナットで固定する
- 7 背上げモーターの先端部のボルトを通し、ナットで固定する

注意

事故・ケガの原因になります

◆ボルトとナットはスパナで確実に固定してください。



- 8 背ボトムを手で支えながら降ろす
- 9 ヘッドボードを取り付ける **27 ページ 参照**

14 長期保管について

- ベッドの高さを最低位置まで下ろしてください。
- 背ボトム、膝ボトム、ヘッドレストを水平の位置まで下ろしてください。
- ベッドの上にはマットレス以外のものを載せないでください。
- マットレスの上には何も載せないでください。（マットレスの上に物を乗せたままにしますとマットレスが変形する場合がありますのでおやめください。）
- 必ず電源プラグをコンセントから抜き、電源コードはコード掛け金具に巻きつけてください。
- バッテリーケーブルを外してください。
- 立て掛けたり、横倒しにしないでください。
- 高温、多湿、ホコリの多い場所での保管は避けてください。
- 取扱説明書は大切に保管してください。

15 アフターサービス

1.保証書について

この医療施設用ベッドには保証書を添付しています。「販売店・購入日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

2.修理を依頼される時

故障した際は、お買い上げ販売店もしくは弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- 品名、品番
- 故障・異常の内容(できるだけ詳しく)
- お買い上げ日
- お名前、ご住所、電話番号

■修理を依頼される前に

今一度この取扱説明書に記載の内容をよくお読みください。それでも異常のある場合は、お買い上げ販売店もしくは弊社カスタマーサポートにご相談ください。

■保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは、保証書をご覧ください。

■保証期間が過ぎているときは

お買い上げ販売店にご相談ください。修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

■このベッドには保証書を添付しています。[販売日・購入日]などの記入事項をよくお読みいただき、大切に保管してください。

3.アフターサービスについてご不明な点

お買い上げの販売店もしくは弊社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

保証書

品名	AX シリーズ	保証期間	お買い上げより1年間
お客様	お名前	販売店	お買い上げ日 年 月 日
	住所		販売店名
	TEL		住所
			TEL

1. 1年間の保証期間に取扱説明書に従った正常な使用状況で故障した場合には、無償修理致します。
2. 保証期間内でも次の場合は有償になります。
 - ①使用上の誤りおよび不正な修理や改造による故障および破損。
 - ②お買い上げ後の落下等による故障および破損。
 - ③火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧による故障および破損。
 - ④本書の提示がないもの。
 - ⑤本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
3. 本書は国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
4. 本書は再発行いたしませんので紛失しないようご注意ください。

販売店さまへのお願い お買い上げ日および貴店名、住所、電話番号を記入、捺印したうえでお客様にお渡してください。

修理、お取り扱いなどのご相談は、
まずお買い上げの販売店、弊社カスタマーサポートへお申し付けください。

10月1日は 福祉用具の日

カスタマーサポートお問い合わせ窓口



お問い合わせは、カスタマーサポートへ
0120-20-1001



シーホネンス株式会社

札幌/仙台/東京/神奈川/静岡/名古屋/大阪/高松/高知/広島/福岡/宮崎/南九州/沖縄

【大阪本社】〒537-0001 大阪市東成区深江北3-10-17 TEL(06)-6973-3471
 FAX(06)-6973-3440

医療・介護ベッドの最新情報は、シーホネンス・ホームページをご覧ください。

www.seahonence.co.jp